



## 設置の概要

---

AP の設置には、次の高レベルなタスクが関係します。

- [AP の設置の準備 \(1 ページ\)](#)
- [設置前の設定 \(任意\) \(2 ページ\)](#)
- [アクセス ポイントの取り付け \(5 ページ\)](#)

## AP の設置の準備

AP の取り付けおよび導入の前に、サイト調査を実施（またはサイト計画ツールを使用）することにより、AP の最適な設置場所を判断するようお勧めします。

ご使用のワイヤレスネットワークに関する次の情報を把握しておく必要があります。

- AP の設置場所
- AP の取り付けオプション：垂直または水平の壁面または支柱



---

(注) AP はさまざまな方向に取り付けることができます。方向によっては、追加の取り付け器具を購入する必要があります。詳細については、[アクセス ポイントの取り付け \(5 ページ\)](#) のセクションを参照してください。

---

- AP 電源オプション：802.3at (PoE+)、802.3bt、および Cisco Universal PoE (Cisco UPOE)。



---

(注) 802.3af を使用して AP に電力を供給すると、2.4 GHz 無線と 5 GHz 無線の両方が無効になり、イーサネットは 1 GbE の速度にダウングレードされます。SFP ポートと PoE 出力も無効になります。

---

- 動作温度：
  - C9124AXI：-40° ～ 65°C (-40° ～ 149°F)、日射負荷時は 55°C (131°F)

- C9124AXD : -40° ~ 65°C (-40° ~ 149°F) 、日射負荷時は 55°C (131°F)
  - C9124AXE : -40° ~ 65°C (-40° ~ 149°F) 、日射負荷時は 55°C (131°F)
- コンソールポートを使用したコンソールへのアクセス  
長さ 1 メートル以下のコンソールケーブルを使用することをお勧めします。



- 
- (注) 終端されていないコンソールケーブル（デバイスまたは端末に接続されていない）、または長さが 1 メートルを超えるコンソールケーブルを使用すると、起動中に AP で問題が発生する可能性があります。
- 

AP の場所を示すサイトマップを準備し、各場所のデバイスの MAC アドレスを記録して、その記録をワイヤレスネットワークを計画または管理している担当者に渡すことができるようにすることを推奨します。

## 設置前の設定（任意）

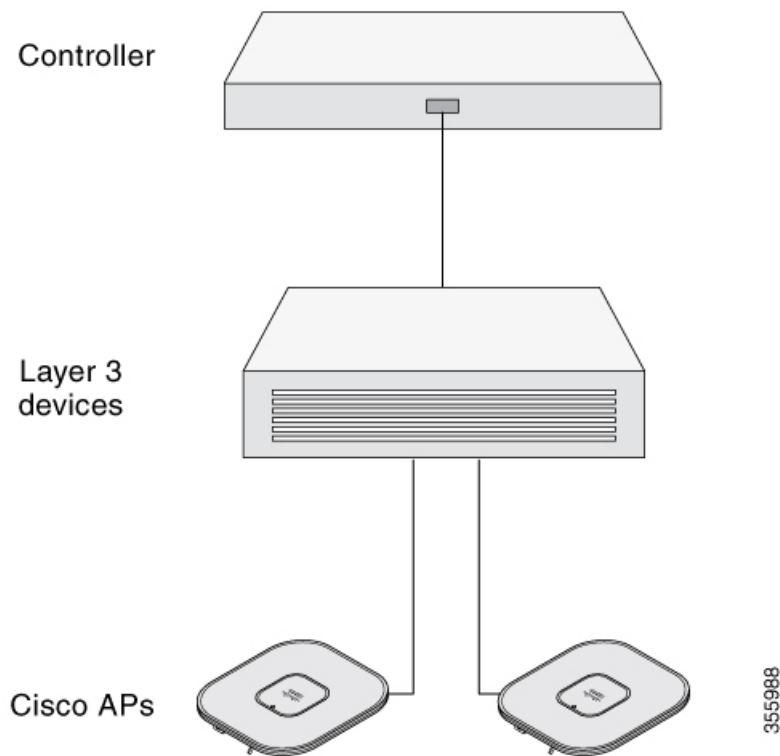
次に、AP の設置と初期操作が正常に行われるように設計した手順を説明します。この手順は任意です。



- 
- (注) ワイヤレスコントローラが適切に設定されている場合は、AP を最終的な設置場所に取り付けて、そこからネットワークに接続することができます。詳細については、[ワイヤレスネットワークへのアクセスポイントの導入](#)を参照してください。
- 

図 1 : 設置前の設定 (3 ページ) に設置前の設定を示します。

図 1: 設置前の設定



設置前の設定を行うには、次の手順を実行します。

### 手順

**ステップ 1** シスコのコントローラ分散システムがネットワークに接続されていることを確認します。該当するリリースのシスココントローラ設定ガイドに記載されている CLI または GUI インターフェイス向けの手順を使用します。

(注) SFP モジュールを使用するには、AP の起動前に AP の SFP ポートに SFP モジュールを挿入して、適正な電力消費量と PoE ディレーティングを確保する必要があります。

- a) AP が、シスココントローラ管理インターフェイスと AP 管理インターフェイスにレイヤ 3 接続できることを確認します。
- b) AP を接続するスイッチを設定します。コントローラが実行されているリリースについては、特定のリリースの『[Cisco Wireless Controller Configuration Guide](#)』を参照してください。
- c) 新しい AP が常にこのコントローラに接続するように、このコントローラをプライマリコントローラとして設定します。
- d) ネットワーク上で DHCP が有効になっていることを確認します。

AP は、DHCP を介して IP アドレスを取得する必要があります。

(注) デフォルトルータ（ゲートウェイ）が DHCP サーバ上に設定されており（AP が自身のゲートウェイ IP アドレスを受け取れるようになる）、ゲートウェイ ARP が解決される場合のみ、DHCP サーバから 802.11AX シスコ AP に IP アドレスが割り当てられます。

- e) ネットワークが CAPWAP UDP ポートをブロックしないように設定されていることを確認します。
- f) AP は、コントローラの IP アドレスを検出できる必要があります。これには、DHCP、DNS、または IP サブネットブロードキャストを使用します。このガイドでは、コントローラの IP アドレスを提供する DHCP 方式について説明します。その他の方式については、製品マニュアルを参照してください。詳細については、[DHCP オプション 43 の設定](#)を参照してください。

(注) ワイヤレストラフィックの速度が 10/100 イーサネットポートの伝送速度を超えるためにイーサネットポートがトラフィックのボトルネックにならないよう、AP にはギガビットイーサネット（GbE）リンクが必要です。

**ステップ 2** AP に電力を供給します。詳細については、[Power-over-Ethernet によるアクセスポイントへの電源供給（54 ページ）](#)を参照してください。

- a) AP がコントローラに接続しようとする時、LED が消灯、緑色、赤色の順に切り替わります。この動作は、最大で 5 分間続きます。

(注) AP が 5 分を超えてもこのモードのままの場合、AP がプライマリコントローラを検出できないことを示します。AP とプライマリコントローラの接続をチェックし、いずれも同じサブネット上にあることを確認します。

- b) AP がシャットダウンした場合は、電源をチェックします。
- c) AP がプライマリコントローラを検出すると、AP のソフトウェアリリースがコントローラのリリースバージョンと異なる場合、ソフトウェアイメージのダウンロードが試行されます。この動作中は、ステータス LED が青色に点滅します。
- d) ソフトウェアイメージのダウンロードが成功すると、AP がリブートします。

**ステップ 3** コントローラの CLI、コントローラの GUI、または Cisco DNA Center を使用して、AP 802.11AX ネットワークを設定します。

**ステップ 4** 設置前の設定に成功すると、ステータス LED が緑色になり、通常の動作になっていることを示します。

AP を接続解除して、ワイヤレスネットワーク上の配置予定場所に取り付けます。

**ステップ 5** AP が通常の動作を示さない場合、電源を切り、設置前の設定を繰り返します。

- (注) レイヤ 3 AP をコントローラとは別のサブネットに設置する場合、次の点を確認します。
- APをインストールするサブネットから DHCP サーバに到達できることを確認します。
  - サブネットにはコントローラに戻るルートがあります。コントローラに戻るルートで、CAPWAP 通信用の宛先 UDP ポート 5246 および 5247 が開かれていることを確認します。
  - プライマリ、セカンダリ、およびターシャリの各コントローラに戻るルートで、IP パケットのフラグメントが許可されていることを確認します。
  - アドレス変換を使用する場合は、AP とコントローラに外部アドレスとの 1 対 1 の静的 NAT が存在することを確認します（ポートアドレス変換はサポートされていません）。

---

## アクセスポイントの取り付け

このセクションでは、APの取り付け手順について説明します。APを設置する担当者は、ワイヤレス AP、ブリッジング技術、および接地方法に関する知識が必要です。

### 取り付けキットの選択

設置に最適な次のいずれかの構成で AP を取り付けることができます。

- 壁面または支柱への垂直な取り付け。
- 軒下、天井、または支柱への水平な取り付け。
- より線ケーブルへの取り付け。



- 
- (注) 次の表に、各 AP モデルに適用される一般的な取り付け方法を示します。
-

AP取り付けキット <sup>1</sup>	9124AXI	9124AXD	9124AXE	目的
AIR-MNT-VERT1=	なし	あり	あり	<p>壁面への垂直取り付け用および直径 51 ～ 127 mm (2 ～ 5 インチ) の支柱用の固定取り付けキット。次を参照してください。</p> <p>壁面への AP の垂直取り付け (7 ページ)</p> <p>支柱への AP の垂直取り付け (10 ページ)</p>
AIR-MNT-VERT2=	なし	あり	あり	<p>壁面への垂直取り付け用および直径 51 ～ 127 mm (2 ～ 5 インチ) の支柱用の固定取り付けキット。AP と電源の両方の取り付けが可能。次を参照してください。</p> <p>DC 電源 AP の壁面への垂直取り付け (12 ページ)</p> <p>DC 電源 AP の支柱への垂直取り付け (14 ページ)</p>
AIR-MNT-ART1=	あり	あり	あり	<p>壁面または天井への垂直取り付けと水平取り付けの両方が可能で、直径 51 ～ 127 mm (2 ～ 5 インチ) の支柱用にも使用できるピボット取り付けキット。次を参照してください。</p> <p>壁面または天井への AP の連結マウント (16 ページ)</p> <p>支柱への AP の接続式取り付け (20 ページ)</p>

AP 取り付けキット <sup>1</sup>	9124AXI	9124AXD	9124AXE	目的
AIR-MNT-HORZ1= AIR-ACC-PS-MNT1 (オプション)	あり	なし	あり	<p>AP を地面に対して水平に取り付ける固定取り付けキット。壁面または直径 51 ~ 127 mm (2 ~ 5 インチ) の支柱への水平取り付け。次を参照してください。</p> <p>水平取り付けキットを使用した支柱への AP の取り付け (25 ページ)</p> <p>水平取り付けキットを使用した壁面への AP の取り付け (23 ページ)</p> <p>DC 電源を取り付けるためのオプションの AIR-ACC-PS-MNT1 キット。次を参照してください。</p> <p>DC 電源取り付けブラケット (27 ページ)</p>
AIR-MNT-STRAND1=	あり	なし	なし	<p>より線ケーブル水平取り付け。次を参照してください。</p> <p>AP のより線取り付け (29 ページ)</p>

<sup>1</sup> ブラケットのネジ穴を 4 つ以上使用して AP を取り付けてください。AIR-MNT-Strand1= ブラケットには、2 本以上のネジを使用してください。



- (注)
- AP を垂直に取り付ける場合、必ず LED インジケータが下向きになる方向に AP を取り付けてください。
  - すべてのアンテナポートとコンソールポートが見えており、いつでもアクセス可能な配置になるように、AP を取り付けます。
  - AP の無指向性アンテナを地面に対して垂直に配置します。
  - AP の指向性アンテナを、メインビームが水平方向に対して平行になるように、または水平方向に対して下向きになるように調整します。

## 壁面への AP の垂直取り付け

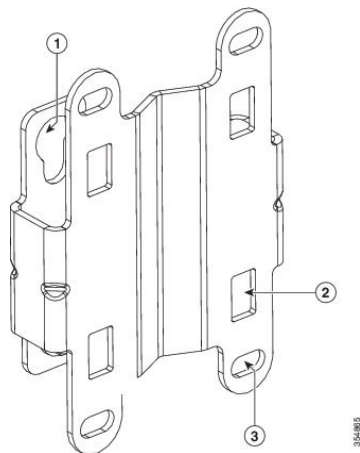
AIR-MNT-VERT1= 取り付けキットには、壁面取り付けまたは支柱取り付け用の取り付けブラケットが含まれています。

取り付けブラケットをテンプレートとして使用し、設置用の取り付け穴の位置に印を付けます。取り付けブラケットを設置した後、AP をブラケットに取り付けます。



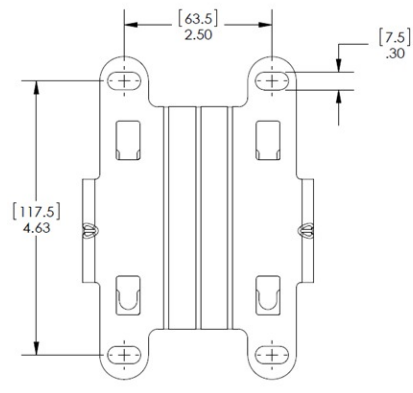
**注意** 取り付ける壁、固定用ねじ、およびウォールアンカーには、22.7kg (50 ポンド) の静止耐荷重が必要です。

図 2: 壁および柱取り付け用の取り付けブラケット



1	AP 取り付け用のキーホールスロット (4 つのうちの 1 つ)。
2	スチールバンドクランプ用のスロット (4 つのうちの 1 つ)。柱に取り付ける場合のみ使用します。
3	ブラケットを壁に固定するためのブラケット取り付け穴。直径 6 mm (1/4 インチ) までのボルトを使用できます。

図 3: 取り付けブラケットの寸法



**始める前に**

壁面への AP の取り付けを開始する前に、次の資材を用意してください。



表 1: AIR-MNT-VERT1=キットを使用してアクセスポイントを壁面に取り付けるために必要な資材

必要な資材	キットに同梱されているか
アースラグとネジ (アクセスポイントに付属)	はい
壁面マウントブラケット	はい
M6 X 12 mm の六角ボルト X 4	はい
アースラグ用の圧着工具 (CD-720-1 ダイ付きの Panduit CT-720)	いいえ
壁面取り付けねじ X 4	いいえ
ウォールアンカー X 4 (すべての材質に適したもの)	いいえ
ウォールアンカー用ドリルビット	いいえ
電動ドリルと標準的なドライバ	いいえ
#6 AWG アース線	いいえ
シールド付き屋外用イーサネットケーブル (CAT5e 以上)	いいえ
アースブロック	いいえ
接地棒	いいえ
10 mm のメガネレンチまたはソケットセット	いいえ

## 手順

- ステップ 1** 取り付けブラケットをテンプレートとして使用し、取り付ける壁に4つのネジ穴位置の印を付けます。取り付けブラケットのネジ穴位置を [図 2: 壁および柱取り付け用の取り付けブラケット \(8 ページ\)](#) に示します。取り付けブラケットの寸法を [図 3: 取り付けブラケットの寸法 \(8 ページ\)](#) に示します。
- ステップ 2** 4つのネジと、必要に応じてウォールアンカーを使用して、マウントプレートを取り付け面に取り付けます。これらのネジとアンカーは別途手配していただく必要があります。
- (注)
- 化粧しっくい、セメント、ドライウォールに AP を取り付ける場合は、屋外仕様の合板の背板を使用することができます。
  - 取り付ける壁面、固定用ネジ、およびウォールアンカーには、22.7kg (50 ポンド) の静止耐荷重が必要です。
- ステップ 3** AP 背面の 4 つの支持ボルト穴それぞれに M6 X 12 mm ボルトを取り付けます。ボルトを完全には締め付けず、3.3 mm (0.13 インチ) 程度のすき間を残してください。

**ステップ4** AP 背面の 4 つの支持ボルトが取り付けブラケット上のキーホールスロットに合うように、AP と取り付けブラケットの位置を合わせます。

**ステップ5** 取り付けブラケット上のキーホールスロットにしっかり固定されるまで AP をスライドさせます。

(注) AP は、ベース部のステータス LED が下になるように取り付ける必要があります。

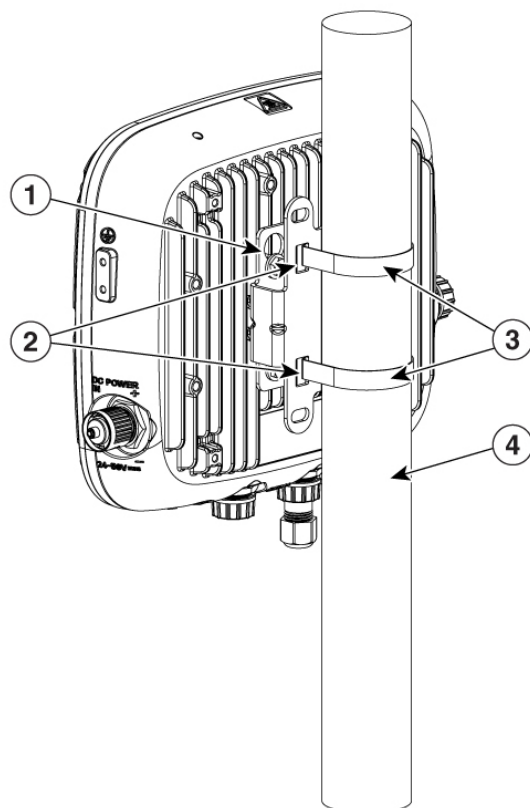
**ステップ6** 10 mm レンチを使用して、AP をブラケットに接続する 4 つのボルトを 4.5 Nm (40 lbf-in) のトルクで締め付けます。

**ステップ7** アンテナの取り付け (外部アンテナモデルの場合のみ)、データケーブルの接続、AP の接地、電力投入、および AP の設定に進みます。

## 支柱への AP の垂直取り付け

AIR-MNT-VERT1= 取り付けキットには、壁面取り付け用と支柱取り付け用両方の取り付けブラケットが含まれています。このキットは、支柱またはマストへの AP の設置に使用できます。このキットは、直径が 51 ~ 127 mm (2 ~ 5 インチ) の金属製、木製、またはファイバーグラス製の支柱に使用できます。

図 4: 柱に設置された AP



357296

1	AP をブラケットに取り付けるための M6 キーホール スロット (4 つのうちの 1 つ)。
2	クランプを通すための上下バンド クランプ スロット。
3	上下のスチール バンド クランプ
4	支柱 (木製、金属製、またはファイバーグラス製) 直径 51 ~ 127 mm (2 ~ 5 インチ)

**始める前に**

支柱への AP の取り付けを開始する前に、次の資材を用意してください。

表 2: AIR-MNT-VERT1= キットを使用して AP を垂直支柱に取り付けるために必要な資材

必要な資材	キットに同梱されているか
壁面マウントブラケット X 1	はい
M6 X 12 mm の六角ボルト X 4	はい
ステンレススチール製バンドクランプ X 2 (51 ~ 127 mm (2 ~ 5 インチ) で調整可能)	はい
10 mm メガネレンチ	いいえ
屋外定格のシールド付きイーサネット ケーブル	いいえ
アース ラグ (アクセス ポイントに付属)	はい
グラウンドブロックとロッド	いいえ
アースラグ用の圧着工具 (CD-720-1 ダイ付きの Panduit CT-720)	いいえ
#6 AWG アース線	いいえ

**手順**

- ステップ 1** AP を取り付けする支柱上の位置を選択します。直径 51 ~ 127 mm (2 ~ 5 インチ) の支柱に AP を取り付けすることができます。
- ステップ 2** ブラケットを支柱に合わせて保持し、取り付けブラケットの上下の取り付けスロットに 2 本のバンドストラップを通します。
- ステップ 3** 柱の周りにバンドストラップを巻き付けて固定し、レンチを使用してクランプを軽く締め付けます。ブラケットが柱から落ちない程度の力で締め付けてください。
- ステップ 4** AP の背面横の 4 つのボルト穴それぞれに M6 ボルトを取り付けます。ボルトは完全に締めないでください。約 3.3 mm (0.13 インチ) の隙間を空けます。
- ステップ 5** AP 上の 4 本のボルトをブラケットのキーホールスロットに合わせます。AP がスロットに正しく固定されていることを確認します。

(注) AP は、ベース部のステータス LED が下になるように取り付ける必要があります。

**ステップ 6** 10 mm レンチを使用して、AP をブラケットに接続する 4 つのボルトを 4.5 Nm (40 lbf-in) のトルクで締め付けます。

**ステップ 7** AP を最終的な取り付け位置に配置します。AP が支柱上でスライドしないように、レンチでバンドクランプを締めます。AP が動かないようにクランプがしっかり締まっていることを確認します。

**ステップ 8** アンテナの取り付け (外部アンテナモデルの場合のみ) 、データケーブルの接続、AP の接地、電力投入、および AP の設定に進みます。

## DC 電源 AP の壁面への垂直取り付け

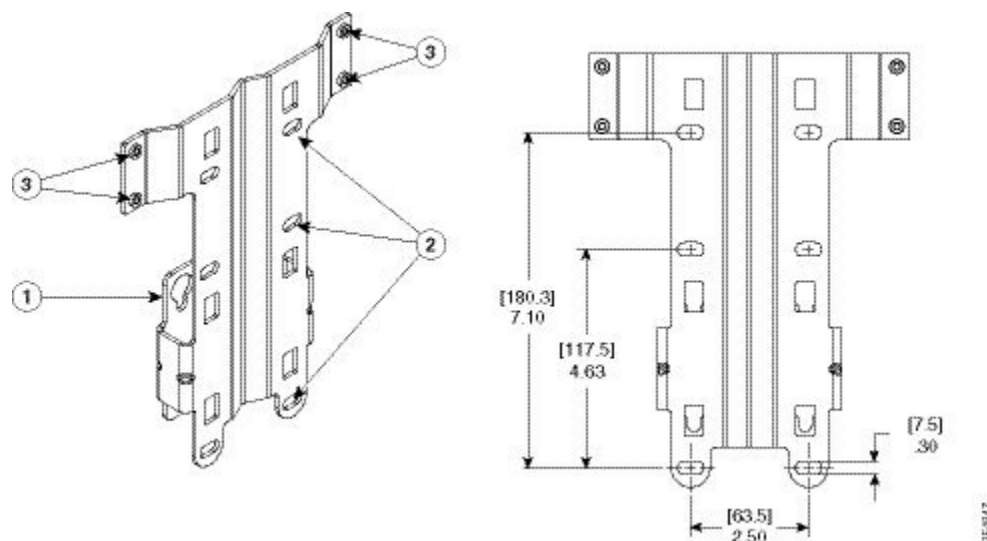
AIR-MNT-VERT2= 取り付けキットには、壁面取り付けまたは支柱取り付け用の取り付けブラケット、AP、電源が含まれます。

取り付けブラケットをテンプレートとして使用し、設置用の取り付け穴の位置に印を付けます。取り付けブラケットを設置した後、AP をブラケットに取り付けます。



**注意** 取り付ける壁、固定用ねじ、およびウォールアンカーには、22.7kg (50 ポンド) の静止耐荷重が必要です。

図 5: AP および電源を壁または柱に取り付けるための取り付けブラケット



1	AP 取り付け用のキーホールスロット (4 つのうちの 1 つ)。
2	ブラケットを壁に固定するためのブラケットの取り付け穴 (6 つのうちの 3 つ)。直径 6 mm (1/4 インチ) までのボルトに対応します。

3	電源をブラケットに固定するためのネジ穴。
---	----------------------

**始める前に**

壁面への AP の取り付けを開始する前に、次の資材を用意してください。

表 3: AIR-MNT-VERT2=キットを使用して AP を壁面に取り付けるために必要な資材

必要な資材	キットに同梱されているか
アースラグとネジ (アクセスポイントに付属)	はい
壁面マウントブラケット	はい
M6 X 12 mm の六角ボルト X 4	はい
電源取り付け用 #8-32 ネジ X 4	はい
アースラグ用の圧着工具 (CD-720-1 ダイ付きの Panduit CT-720)	いいえ
壁面取り付けねじ X 4	いいえ
#6 AWG アース線	いいえ
シールド付き屋外用イーサネット ケーブル (CAT5e 以上)	いいえ
アース ブロック	いいえ
接地棒	いいえ
10 mm のメガネ レンチまたはソケットセット	いいえ

**手順**

- 
- ステップ 1** 取り付けブラケットをテンプレートとして使用し、取り付ける壁に6つのネジ穴位置の印を付けます。取り付けブラケットのネジ穴位置および取り付けブラケットの寸法をに示します。
- ステップ 2** 6つのネジと、必要に応じてウォールアンカーを使用して、マウントプレートを取り付け面に取り付けます。これらのネジとアンカーは別途手配していただく必要があります。
- (注) 化粧しっくい、セメント、ドライウォールに AP を取り付ける場合は、屋外仕様の合板の背板を使用することができます。
- (注) 取り付ける壁面、固定用ネジ、およびウォールアンカーには、22.7kg (50 ポンド) の静止耐荷重が必要です。
- ステップ 3** AP 背面の 4 つの支持ボルト穴それぞれに M6 X 12 mm ボルトを取り付けます。ボルトを完全には締め付けず、3.3 mm (0.13 インチ) 程度のすき間を残してください。

## DC 電源 AP の支柱への垂直取り付け

**ステップ4** AP 背面の4つの支持ボルトが取り付けブラケット上のキーホールスロットに合うように、AP と取り付けブラケットの位置を合わせます。

**ステップ5** 取り付けブラケット上のキーホールスロットにしっかり固定されるまで AP をスライドさせます。

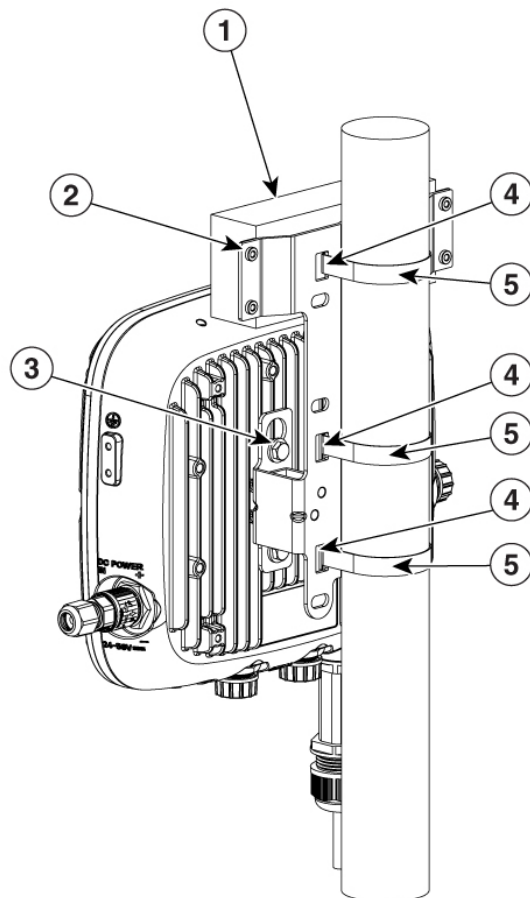
(注) AP は、ベース部のステータス LED が下になるように取り付ける必要があります。

**ステップ6** 10 mm レンチを使用して、AP をブラケットに接続する4つのボルトを 4.5 Nm (40 lbf-in) のトルクで締め付けます。

**ステップ7** アンテナの取り付け (外部アンテナモデルの場合のみ)、データケーブルの接続、AP の接地、電力投入、および AP の設定に進みます。

## DC 電源 AP の支柱への垂直取り付け

AIR-MNT-VERT2= 固定取り付けキットには、壁面取り付けと支柱取り付けの両方に使用可能な取り付けブラケット、AP、電源キットが含まれます。この取り付けキットは、直径が 51 ~ 127 mm (2 ~ 5 インチ) の金属製、木製、またはファイバークラス製の支柱に使用できます。



357297

1	電源モジュール	4	クランプを通すためのバンドクランプ スロット。
2	#8-32 ネジ用のねじ穴 X 4	5	スチール バンド クランプ。
3	AP をブラケットに取り付けるための M6 キーホール スロット (4 つのうちの 1 つ)。		

### 始める前に

支柱への AP の取り付けを開始する前に、次の資材を用意してください。

表 4: AIR-MNT-VERT2=キットを使用して AP を取り付けするために必要な資材

必要な資材	キットに同梱されているか
壁面マウントブラケット X 1	はい
M6 X 12 mm の六角ボルト X 4	はい
電源取り付け用 #8-32 ネジ X 4	はい
ステンレススチール製バンドクランプ (51 ~ 127 mm (2 ~ 5 インチ) で調整可能) X 2	はい
10 mm メガネレンチ	いいえ
屋外定格のシールド付きイーサネット ケーブル	いいえ
アース ラグ (アクセス ポイントに付属)	はい
グラウンドブロックとロッド	いいえ
アースラグ用の圧着工具 (CD-720-1 ダイ付きの Panduit CT-720)	いいえ
#6 AWG アース線	いいえ

### 手順

- ステップ 1** AP を取り付けする支柱上の位置を選択します。直径 51 ~ 127 mm (2 ~ 5 インチ) の支柱に AP を取り付けすることができます。
- ステップ 2** ブラケットを支柱に合わせて保持し、取り付けブラケットの上下の取り付けスロットに3本のバンドストラップを通します。
- ステップ 3** 柱の周りにバンドストラップを巻き付けて固定し、レンチを使用してクランプを軽く締め付けます。ブラケットが柱から落ちない程度の力で締め付けてください。

- ステップ 4** AP の背面横の 4 つのボルト穴それぞれに M6 ボルトを取り付けます。ボルトは完全に締めないでください。約 3.3 mm (0.13 インチ) の隙間を空けます。
- ステップ 5** AP 上の 4 本のボルトをブラケットのキーホールスロットに合わせます。AP がスロットに正しく固定されていることを確認します。
- (注) AP は、ベース部のステータス LED が下になるように取り付ける必要があります。
- ステップ 6** 10 mm レンチを使用して、AP をブラケットに接続する 4 つのボルトを 4.5 Nm (40 lbf-in) のトルクで締め付けます。
- ステップ 7** 電源を #8-32 ネジ 4 本でブラケットに取り付けます。
- ステップ 8** AP を最終的な取り付け位置に配置します。レンチを使ってバンドクランプを締め付けます。AP が動かないようにクランプがしっかり締まっていることを確認します。
- ステップ 9** [アクセスポイントの接地 \(35 ページ\)](#) に進みます。

## 壁面または天井への AP の連結マウント

オプションのピボット取り付けキット AIR-MNT-ART1=には、壁面取り付けと支柱取り付けの両方に使用可能なピボット取り付けブラケットが含まれます。このキットでは、AP の位置を、AP の垂直方向に沿って角度を変えて調整することができます。

このキットを使用して、AP を天井の水平面に取り付けることもできます。

図 6: ピボット壁面取り付けキットに固定された状態の AP

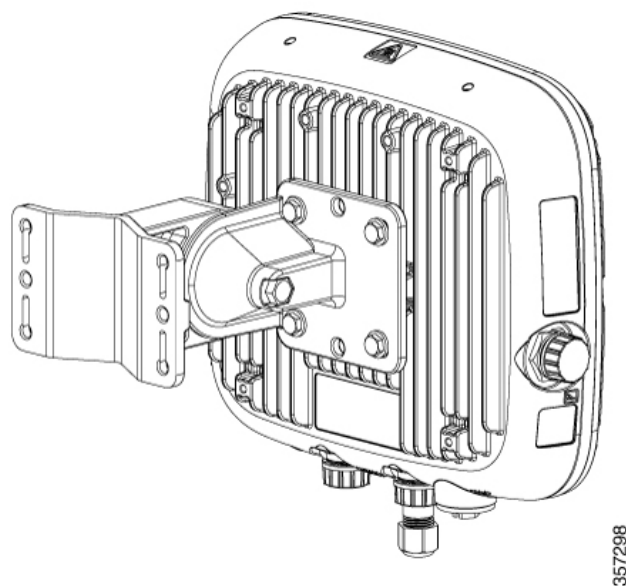
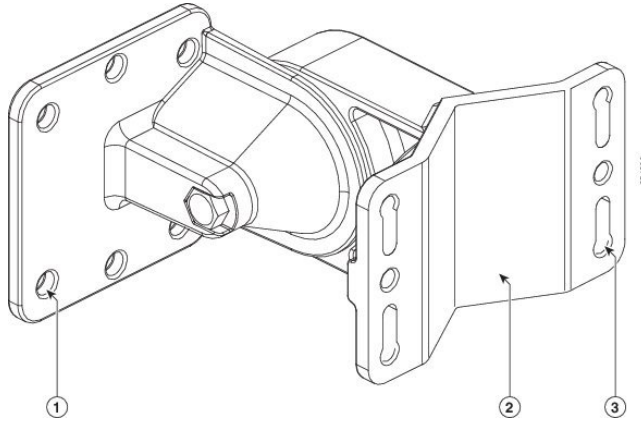




図 7: ピボット壁面取り付けブラケット



1	<p>AP の背面に固定するためのボルト穴 (4 つのうち 1 つ)。</p> <p>これはブラケットの AP プレートエンドであり、アクセスポイント背面に固定されます。</p>	<p>3 壁取り付け用のネジ穴。</p> <p>これらのネジ穴は、柱取り付け時にスチールバンドクランプのスロットとしても使用できます。</p>
2	<p>ブラケットのウォールプレート エンド。</p> <p>このプレートは壁に固定されます。</p>	

図 8: ピボット壁面取り付けブラケットの寸法

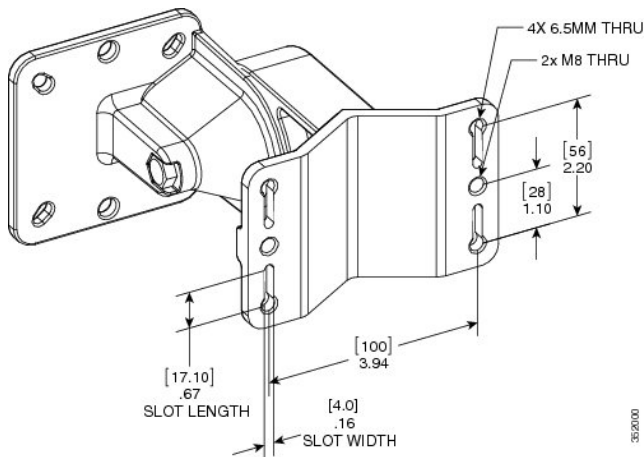
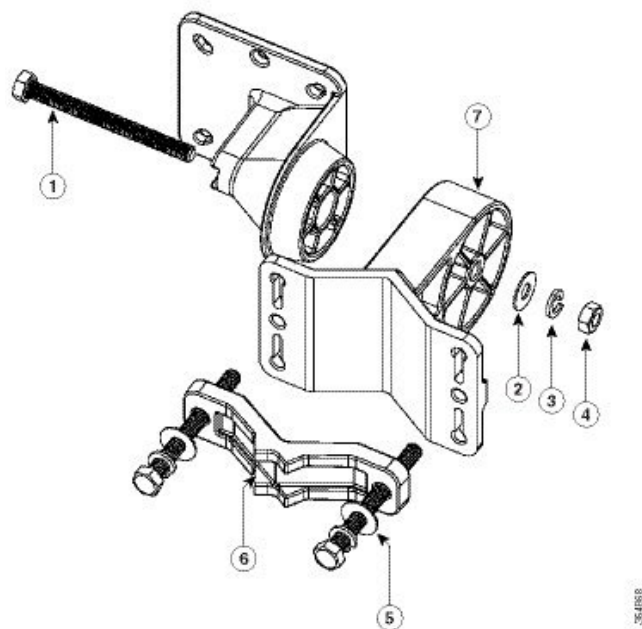


図 9: ピボット取り付けキットの組み立て図



1	90.0 mm の M8 ネジ	5	支柱取り付けネジランプをピボットブラケットベースプレートに固定するための 80.0 mm M8 ネジ、ワッシャ、スプリングワッシャ。
2	M8 ワッシャ	6	支柱取り付けネジランプ
3	M8 バネ座金	7	ピボットブラケットベースプレート
4	M8 ナット		

始める前に

壁面への AP の取り付けを開始する前に、次の資材を用意してください。

表 5: AIR-MNT-ART1=キットを使用して AP を壁面に取り付けるための資材

必要な資材	キットに同梱されているか
アースラグとネジ (アクセスポイントに付属)	はい
ピボット取り付けキットおよびハードウェア	はい
M6 X 12 mm の六角ボルト X 8	はい
オプションの水平マウント用のアダプタ ブラケット	はい
ステンレススチール製バンドクランプ X 2 (51 ~ 127 mm (2 ~ 5 インチ) で調整可能)	はい

必要な資材	キットに同梱されているか
アースラグ用の圧着工具 (CD-720-1 ダイ付きの Panduit CT-720)	いいえ
壁面取り付け用のネジ X 4 (最大 6 mm)	いいえ
#6 AWG アース線	いいえ
シールド付き屋外用イーサネットケーブル (CAT5e 以上)	いいえ
アース ブロック	いいえ
接地棒	いいえ
13 mm メガネ レンチまたはソケットセット	いいえ
10 mm メガネ レンチ	いいえ



**注意** 取り付け面、付属のネジ、およびオプションのウォールアンカーには、22.7kg (50 ポンド) の静止耐荷重が必要です。

### 手順

- ステップ 1** ピボットキットを分解します (まだピボットキットを分解していない場合)。
- ステップ 2** 取り付けブラケットのウォールプレートエンドをテンプレートとして使用し、取り付け面の 4 つのネジ穴の位置に印を付けます。取り付けブラケットのネジ穴の位置 (ネジ穴は最大 6mm) については、[図 7: ピボット壁面取り付けブラケット \(17 ページ\)](#) を参照してください。ピボット取り付けブラケットの寸法については、[図 8: ピボット壁面取り付けブラケットの寸法 \(17 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ 3** 4 本のネジと、必要に応じてウォールアンカーを使用して、取り付けブラケットのウォールプレートエンドを取り付け面に取り付けます。これらのネジとアンカーは別途手配していただく必要があります。
- (注)
- 化粧しっくい、セメント、ドライウォールに AP を取り付ける場合は、屋外仕様の合板の背板を使用することができます。
  - 取り付け面、固定用ネジ、およびウォールアンカーには、22.7kg (50 ポンド) の静止耐荷重が必要です。この静止荷重に耐えられるように、取り付け面に適切なアンカーリングを使用することが重要です。
- ステップ 4** ブラケットの AP プレートエンドを AP 背面にあるネジ穴の位置に合わせます。
- ステップ 5** 4 本の M6 X 12 mm ボルトと 10 mm ボックスレンチまたはソケットレンチを使用して、ブラケットプレートを AP に固定します。ボルトを 4.5 Nm (4.5 lbf-in) のトルクで締め付けます。

**ステップ6** 90 mm M8 ロングネジとピボットブラケットに付属の金具を使用して、壁に取り付けたウォールプレートに AP とブラケットプレートをボルトで固定します。この組み立て手順については、[図7: ピボット壁面取り付けブラケット \(17 ページ\)](#) を参照してください。アセンブリは完全に締め付けないでください。

(注) AP は、ベース部のステータス LED が下になるように取り付ける必要があります。

**ステップ7** 必要に応じて AP の角度を変え、13 mm レンチを使用して 90 mm M8 ロングネジを完全に締め付けます。

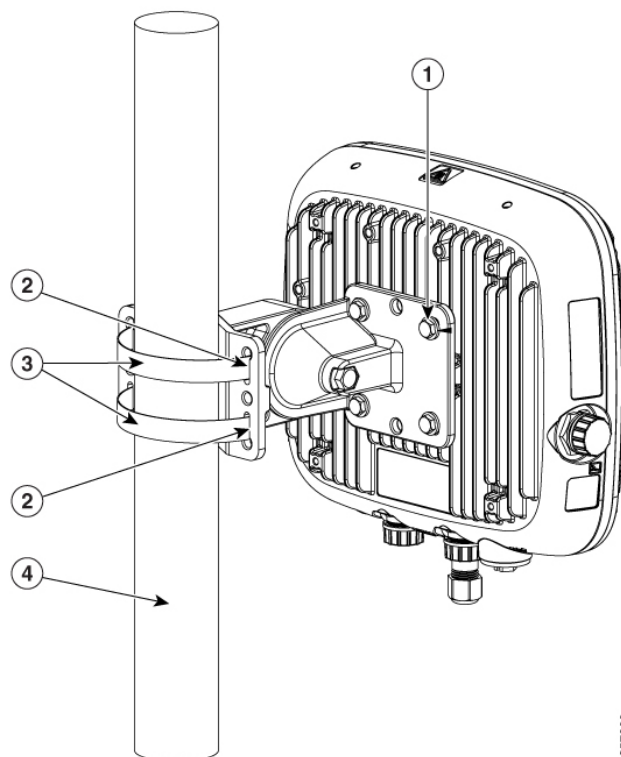
**ステップ8** アンテナの取り付け (外部アンテナモデルの場合のみ)、データケーブルの接続、AP の接地、電力投入、および AP の設定に進みます。

## 支柱への AP の接続式取り付け

オプションの接続式取り付けキット AIR-MNT-ART1=には、壁面取り付けと支柱取り付けの両方に使用可能なピボット取り付けブラケットが含まれます。このキットは、支柱またはマストへの AP の設置に使用できます。このキットは、直径が 51 ~ 127 mm (2 ~ 5 インチ) の金属製、木製、またはファイバークラス製の支柱に使用できます。

AIR-MNT-ART1= 接続式取り付けキットを使用すると、AP の垂直方向に沿って角度を変えて AP の位置を調整することができます。

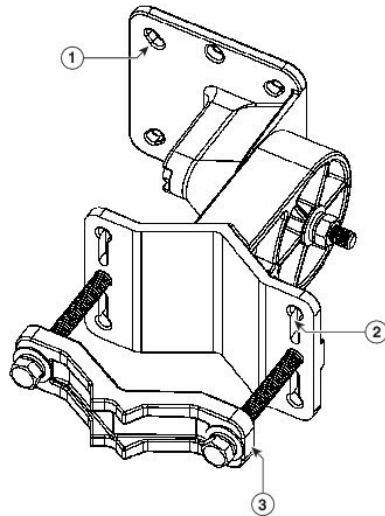
図 10: ピボット取り付けブラケットを使用して支柱に取り付けられた AP



357289

1	AP をブラケットに取り付けるための取り付け穴 (4 つのうち 1 つ)。	3	スチールバンドクランプ
2	バンドクランプ用スロット	4	支柱

図 11: 柱取り付けクランプ付きのピボット取り付けキット



1	AP の取り付け穴 (4 つのうち 1 つ)。これはブラケットの AP プレートエンドであり、アクセスポイント背面に固定されます。	3	柱取り付けネジクランプ。直径 50 ~ 76 mm (2 ~ 3 インチ) までの支柱に対応します。
2	バンドクランプ用のスロット (4 つのうち 1 つ)。これはピボットブラケットのベースプレートであり、支柱に固定されます。 バンドクランプを使用した柱への取り付けについて、 <a href="#">図 10: ピボット取り付けブラケット</a> を使用して支柱に取り付けられた AP ( <a href="#">20 ページ</a> ) に示します。		

始める前に

支柱への AP の取り付けを開始する前に、次の資材を用意してください。

表 6: AIR-MNT-ART1=キットを使用して AP を支柱に取り付けるために必要な資材

必要な資材	キットに同梱されているか
アースラグとネジ (アクセスポイントに付属)	はい

必要な資材	キットに同梱されているか
ピボット取り付けキットおよびハードウェア	はい
M6 X 12 mm の六角ボルト X 8	はい
オプションの水平マウント用のアダプタ ブラケット	はい
ステンレススチール製バンドクランプ (51 ~ 127 mm (2 ~ 5 インチ) で調整可能) X 2	はい
アースラグ用の圧着工具 (CD-720-1 ダイ付きの Panduit CT0720)	いいえ
壁面取り付け用のネジ X 4 (最大 6 mm)	いいえ
#6 AWG アース線	いいえ
シールド付き屋外用イーサネット ケーブル (CAT5e 以上)	いいえ
アース ブロック	いいえ
接地棒	いいえ
13 mm メガネ レンチまたはソケット セット	いいえ
10 mm メガネ レンチ	いいえ

## 手順

- ステップ 1** AP を取り付ける支柱上の位置を選択します。直径 51 ~ 127 mm (2 ~ 5 インチ) の支柱に AP を取り付けることができます。
- ステップ 2** ピボット キットを分解します (まだピボット キットを分解していない場合)。
- ステップ 3** 調整可能なバンドクランプ一式またはネジクランプ (ネジクランプは直径 50 ~ 76 mm (2 ~ 3 インチ) の支柱に使用可能) を使用してピボットブラケットのベースプレートを支柱に固定します。
- ステップ 4** ピボットブラケットのベースプレートとクランプを支柱に配置します。ブラケットのベースプレートが正しい位置に保持され、支柱に沿って滑り落ちない一方で、支柱上で軸回転させることが可能な程度の強さで締め付けます。完全に締め付けるのは、AP の取り付けと位置調節が終了した後です。
- ステップ 5** ブラケットの AP プレートエンドを AP 背面にあるネジ穴の位置に合わせます。
- ステップ 6** 4 本の M6 X 12 mm ボルトと 10 mm ボックスレンチまたはソケットレンチを使用して、ブラケットプレートを AP に固定します。ボルトを 4.5 Nm (4.5 lbf-in) のトルクで締め付けます。
- ステップ 7** 90mm M8 ロングネジとピボットブラケットに付属の金具を使用して、支柱に取り付けたウォールプレートに AP とブラケットプレートをボルトで固定します。アセンブリは完全に締め付けないでください。

(注) AP は、ベース部のステータス LED が下になるように取り付ける必要があります。

**ステップ 8** 必要に応じて AP の角度を変えて位置を調節し、13 mm レンチを使用して 90 mm M8 ロングネジを完全に締め付けた後、支柱のクランプを締め付けます。

(注) 支柱取り付けネジクランプでの 80 mm ボルトの締め付けは慎重に行ってください。ボルトを締め付ける際、クランプ面がブラケットのベースプレートと平行になっていることを確認します。M8 X 80 mm ボルトを 5.9 ~ 6.9 Nm (52 ~ 61 lbf-in) のトルクで締め付けます。

**注意** 位置が合っていないかったり、トルクが大きすぎたりすると、ネジクランプが破損することがあります。

## 水平取り付けキットを使用した壁面への AP の取り付け



**注意** 取り付ける壁面、固定用ネジ、およびウォールアンカーには、少なくとも 22.7kg (50 ポンド) の静止耐荷重が必要です。設置者は、地元の規定に準拠した適切なネジとアンカーを用意する必要があります。

### 始める前に

壁面への AP の水平取り付けを開始する前に、次の資材を用意してください。

表 7: AIR-MNT-HORZ1=キットを使用した AP の取り付けに必要な資材

必要な資材	キットに同梱されているか
壁面/支柱取り付け用 L 字ブラケット	はい
ソーラーシールドカバー	はい
M6 X 12 mm の六角ボルト X 4	はい
直径 51 ~ 127 mm (2 ~ 5 インチ) の調整可能なバンドクランプ X 2	はい
8-32 X 0.62 インチプラスナベネジ X 4	はい
壁面用ネジおよびアンカー (壁面の材質に適したもの) X 4	いいえ
ウォールアンカー用ドリルビット	いいえ
10 mm のメガネレンチまたはソケットセット	いいえ
プラス ドライバ	いいえ

## 手順

- ステップ1** 取り付けブラケットをテンプレートとして使用し、取り付ける壁に4つのネジ穴位置の印を付けます。取り付けブラケットのネジ穴の位置と寸法については、[図12:壁面取り付け用L字ブラケットのネジ穴の寸法 \(24ページ\)](#) を参照してください。L字取り付けブラケットの寸法については、[図13:L字ブラケットAP取り付け部の寸法 \(24ページ\)](#) を参照してください。

図12:壁面取り付け用L字ブラケットのネジ穴の寸法

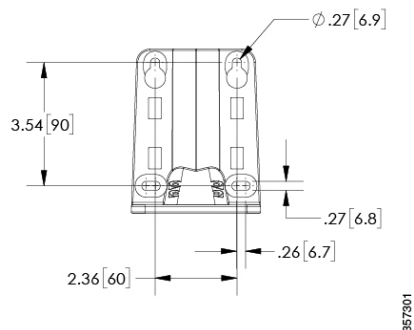
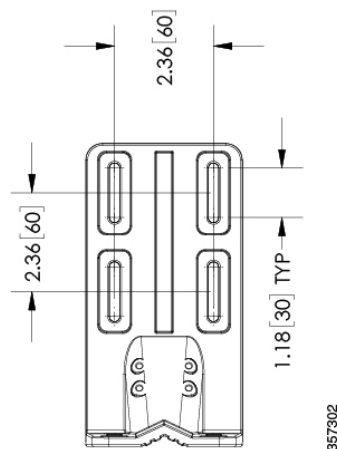


図13:L字ブラケットAP取り付け部の寸法



- ステップ2** 4本のネジと、必要に応じてウォールアンカーを使用して、L字ブラケットを取り付け面に取り付けます。これらのネジとアンカーは、22.7 kg (50 ポンド) 以上の重量を支えられるように、地元の規定に準拠している必要があります。
- ステップ3** APをL字ブラケットの底面に対して水平に配置し、AP背面の4つの取り付け穴を取り付けブラケットのスロットに合わせます。

(注) APには、設置場所での配線に最適な位置に配置するための追加の取り付け穴があります。APをブラケットに取り付ける前に確認してください。

- ステップ4** AP背面の4つの支持ボルト穴それぞれにM6 X 12 mm ボルトを取り付けます。ボルトは完全に締め付けしないでください。ブラケットスロットにスライドさせて取り付けるまで緩いままにしておきます。



**ステップ5** AP および接続されるすべてのケーブルに、ドリップループを形成する余裕があることを確認します。

**ステップ6** 10 mm レンチを使用して、4 本の M6 ボルトを 4.5 Nm (40 lbf-in) のトルクで締め付けます。

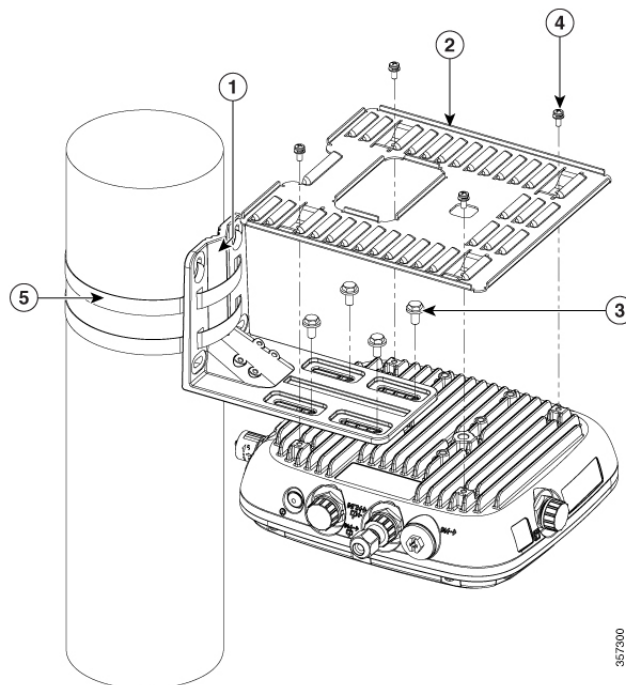
**ステップ7** L 字型ブラケットと AP の上にソーラーシールドを配置して取り付けます。シールドの 4 つの穴を AP の取り付け穴に合わせます。4 本の #8-32 ネジをシールドに通して AP に挿入します。ネジを 17 kgf-cm (15 lbf-in) のトルクで締め付けます。

(注) ソーラーシールドを取り付けることを推奨します。ただし、AP の設置場所が日陰になっている場合（屋内や軒下など）、ソーラーシールドは必要ありません。

## 水平取り付けキットを使用した支柱への AP の取り付け

AIR-MNT-HORZ1= 取り付けキットには、支柱取り付け用と壁面取り付け用両方の取り付け L 字ブラケットとコンポーネントが含まれています。このキットを使用して、支柱またはマストに AP を設置できます。このキットは、直径が 51 ~ 127 mm (2 ~ 5 インチ) の金属製、木製、またはファイバーグラス製の支柱に使用できます。

図 14: 支柱水平取り付けキット (AIR-MNT-HORZ1=)



1	L 字ブラケット
2	ソーラーシールド
3	M6 X 12 mm の六角ボルト X 4

4	8-32 X 0.62 インチプラスなベネジ X 4
5	ブラケットスロットに通す、直径 51 ~ 127 mm (2 ~ 5 インチ) の調整可能なバンドクランプ X 2

### 始める前に

支柱への AP の水平取り付けを開始する前に、次の資材を用意してください。

表 8: AIR-MNT-HORZ1=キットを使用した AP の取り付けに必要な資材

必要な資材	キットに同梱されているか
壁面/支柱取り付け用 L 字ブラケット	はい
ソーラー シールド	はい
M6 X 12 mm の六角ボルト X 4	はい
直径 51 ~ 127 mm (2 ~ 5 インチ) の調整可能なバンドクランプ X 2	はい
8-32 X 0.62 インチプラスなベネジ X 4	はい
壁面用ネジおよびアンカー (壁面の材質に適したもの) X 4	いいえ
ウォールアンカー用ドリルビット	いいえ
10 mm のメガネレンチまたはソケットセット	いいえ
プラス ドライバ	いいえ

### 手順

- ステップ 1** AP を取り付ける支柱上の位置を選択します。直径 51 ~ 127 mm (2 ~ 5 インチ) の支柱に AP を取り付けることができます。
- ステップ 2** ブラケットを支柱に合わせて保持し、取り付けブラケットの上下の取り付けスロットに 2 本のバンドストラップを通します (図 14: 支柱水平取り付けキット (AIR-MNT-HORZ1=) (25 ページ) を参照)。
- ステップ 3** 支柱の周りにバンドストラップを巻き付けて固定し、レンチを使用してクランプを軽く締め付けます。ブラケットが柱から落ちない程度で締めます。
- ステップ 4** AP を L 字ブラケットの底面に対して水平に配置し、AP 背面の 4 つの取り付け穴を取り付けブラケットのスロットに合わせてます。

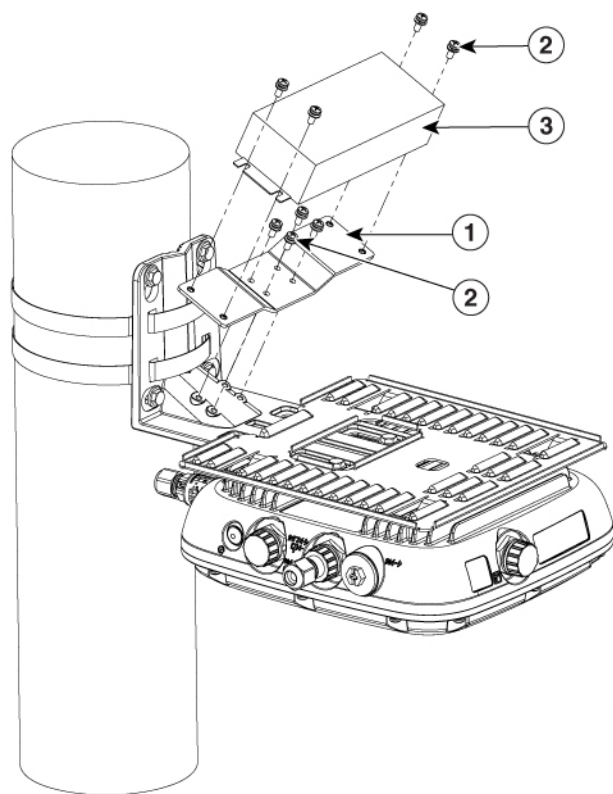
(注) AP には、設置場所での配線に最適な位置に配置するための追加の取り付け穴があります。AP をブラケットに取り付ける前に確認してください。

- ステップ5** AP 背面の 4 つの支持ボルト穴それぞれに M6 X 12 mm ボルトを取り付けます。ボルトは完全に締め付けしないでください。ブラケットスロットにスライドさせて取り付けるまで緩いままにしておきます。
- ステップ6** AP を最終的な取り付け位置に合わせて保持します。AP が支柱上でスライドしたり回転したりしないように、レンチでバンドクランプを締めます。AP が動かないようにクランプがしっかりと締まっていることを確認します。AP および接続されるすべてのケーブルに、ドリップループを形成する余裕があることを確認します。
- ステップ7** 10 mm レンチを使用して、4 本の M6 ボルトを 4.5 Nm (40 lbf-in) のトルクで締め付けます。
- ステップ8** L 字型ブラケットと AP の上にソーラーシールドを配置して取り付けます。シールドの 4 つの穴を AP の取り付け穴に合わせます。4 本の #8-32 ネジをシールドに通して AP に挿入します。ネジを 17 kgf-cm (15 lbf-in) のトルクで締め付けます。
- (注) ソーラーシールドを取り付けることを推奨します。ただし、AP の設置場所が日陰になっている場合（屋内や軒下など）、ソーラーシールドは必要ありません。

## DC 電源取り付けブラケット

AIR-ACC-PS-MNT1=ブラケットは、AIR-MNT-HORZ1=L 字ブラケットキットに DC 電源を取り付けるための注文可能なオプションです。

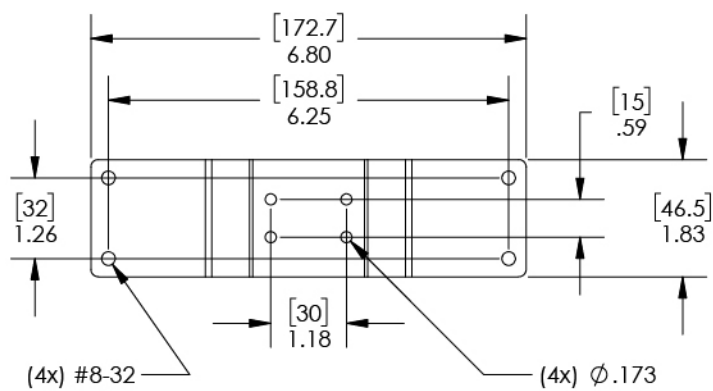
図 15: L 字ブラケットへの DC 電源ブラケットの取り付け



357303

1	DC 電源取り付けブラケット
2	8-32 X 長さ 0.62 のブラケットネジ
3	DC 電源

図 16: DC 電源ブラケットの寸法



357304

手順

- ステップ 1** 付属の 4 本のネジで DC ブラケットを L 字ブラケットに取り付けます。ネジを 17 kgf-cm (15 lbf-in) のトルクで締め付けます。図 15:L 字ブラケットへの DC 電源ブラケットの取り付け (28 ページ) を参照してください。
- ステップ 2** DC 電源をブラケットに取り付けます。ブラケットの寸法については、図 16:DC 電源ブラケットの寸法 (28 ページ) を参照してください。

## AP のより線取り付け

より線取り付けキット (SMK) は、AP をより線ケーブルに水平に取り付けるために使用します。SMK は、AP の背面と支持用より線ケーブルの間に 51 ~ 76 mm (2 ~ 3 インチ) のケーブル束を収容できます。

SMK は、最大 10 度のより線/ケーブル垂下にも対応できます。

図 17: 取り付けられた AP を含む SMK ブラケットアセンブリの寸法

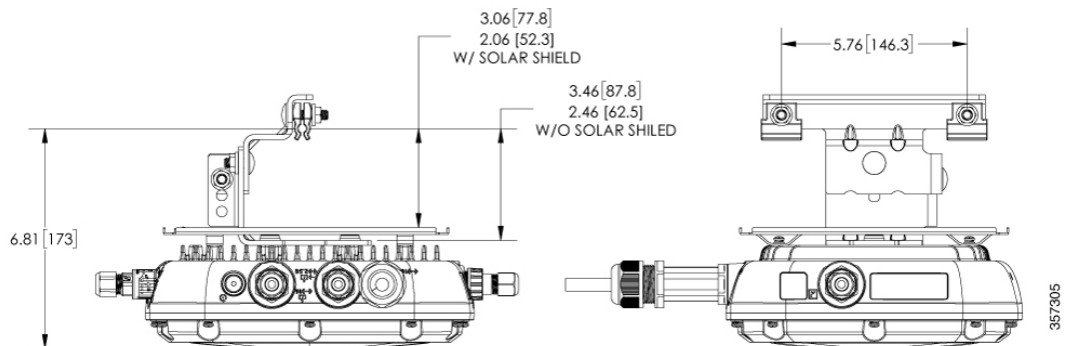
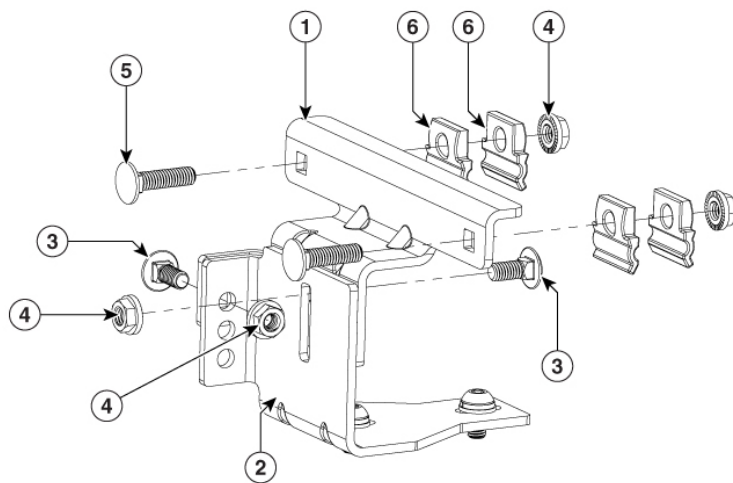


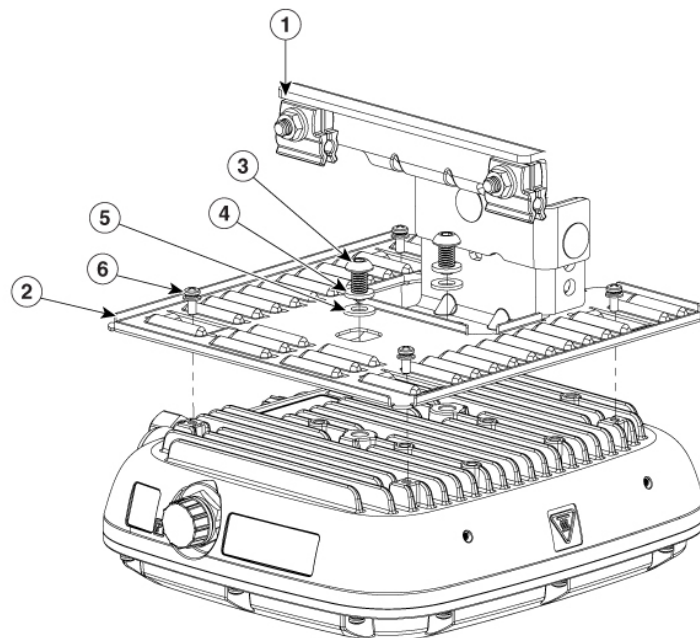
図 18: ケーブルブラケットとクランプの組み立て



357306

1	SMK 上部ブラケット	4	鋸歯状フランジ付き 5/16-18 六角ナット
2	SMK 下部ブラケット	5	5/16-18 X 1.25 インチボルト
3	5/16-18 X 0.75 インチボルト	6	ケーブルクランプ

図 19: SMK とソーラーシールドへの AP の取り付け



357307

1	SMK ブラケットアセンブリ	4	M8 スプリットロックワッシャ
2	ソーラー シールド	5	M8 フラットワッシャ

3	M8 X 16 mm 丸頭六角ボルト	6	8-32 X 0.62 インチプラスなベネジ
---	--------------------	---	------------------------

AP をより線ケーブルに水平に取り付けるには、次の手順に従います。

### 始める前に

AP をより線を使用して取り付けの前に、次の資材を用意してください。

表 9: AIR-MNT-STrand1= キットを使用した AP の取り付けに必要な資材

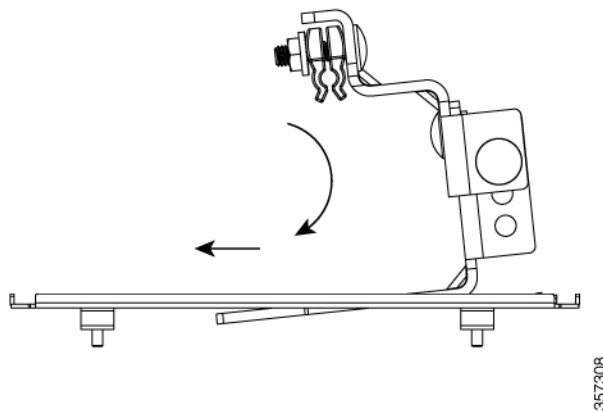
必要な資材	キットに同梱されているか
より線取り付けキット (ハードウェアを含む)	はい
ソーラーシールドカバー	はい
M8 X 16 mm 丸頭六角ボルト X 2	はい
M8 スプリットロックワッシャ X 2	はい
M8 フラットロックワッシャ X 2	はい
8-32 X 0.62 インチプラスなベネジ X 4	はい
5 mm 六角レンチ	いいえ
13 mm のメガネレンチまたはソケットセット	いいえ
プラス ドライバ	いいえ

### 手順

- ステップ 1** 両方のケーブルブラケット上でケーブルクランプを組み立てます (図 19: SMK とソーラーシールドへの AP の取り付け (30 ページ) を参照)。必要に応じて、ケーブルブラケットの高さを設定します。ケーブルクランプナットは脱落しない程度に手で締め付ける必要があります。
- ステップ 2** SMK ブラケットアセンブリにソーラーシールドを取り付けます。図 20: ケーブルブラケットとクランプの組み立て (32 ページ) を参照してください。
- (注) ソーラーシールドを取り付けることを推奨します。ただし、AP の設置場所が日陰になっている場合 (屋内や軒下など)、ソーラーシールドは必要ありません。
- ステップ 3** 2 本の M8 X 16 ボルト (フラットワッシャおよびロックワッシャ付き) を使用して、AP の背面に SMK ブラケットアセンブリを固定します。5 mm 六角レンチを使用して、17.6 ~ 20.3 Nm (13 ~ 15 lbf-ft) のトルクでボルトを締め付けます。
- ステップ 4** 4 本の 8-32 ネジでソーラーシールドを固定します。ネジを 17 kgf-cm (15 lbf-in) のトルクで締め付けます。

**ステップ 5** APに取り付けられたケーブルブラケットをより線ケーブル上に配置して、ケーブルクランプの各ペアをより線ケーブルに固定します。2つの 5/16-18 ナットを 17.6 ~ 20.3 Nm (13 ~ 15 lbf-ft) で締め付けて、ケーブルクランプを固定します。

図 20: ケーブルブラケットとクランプの組み立て



(注) 必要に応じて、APが水平になるように、ブラケットアセンブリに設置し直します。スロット付きの穴で動かすことができる程度に M8 ネジを緩めてから、ネジを 17 kgf-cm (15 lbf-in) のトルクで再度締め付けます。

**ステップ 6** データケーブルを接続し、AP を接地し、AP に電力を供給します。

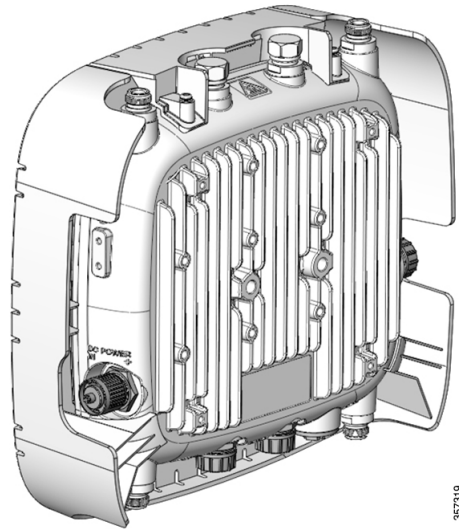
(注) 設置の際、より線ケーブルや支持ケーブルを光ファイバまたはケーブル束から引き離さなければならない場合があります。設置後は、必ずケーブルを再度固定してください。

## 塗装可能な AP カバーキット

周囲の環境に AP を溶け込ませるために、カバー C9124-CVR1= を取り付け、取り付けたカバーを塗装することができます。カバーは、すべての接続が確立する前と後のどちらでも設置できます。ただし、リモートケーブル付きアンテナを取り付ける場合には、アンテナケーブルを AP に取り付ける前にカバーを取り付ける必要があります。

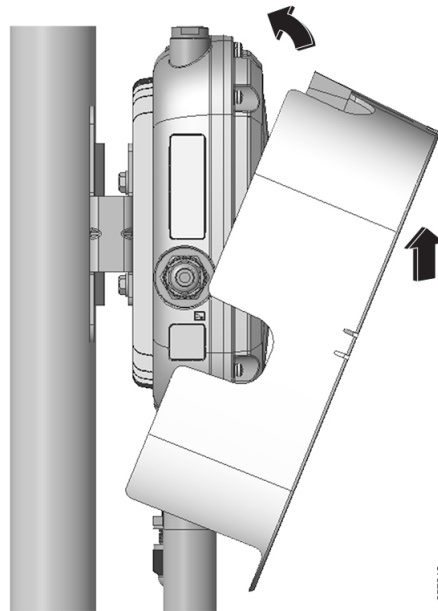


図 21: 塗装可能なカバーキットを取り付けた AP



357319

図 22: 設置済み AP への AP カバーの取り付け



357318

手順

ステップ1 AP の上にカバーを配置して回転させます。

図 23: AP カバーキットの取り付け



**ステップ 2** ネジでフランジ付き側面を慎重に外向きに引っ張り、AP をカバーに通します。カバーは AP にぴったりとはまります。

**ステップ 3** カバー上部の 2 本の非脱落型ネジをネジ穴に合わせます。

## 避雷器の取り付け

過電圧の過渡電流は、雷による静電放電、スイッチプロセス、電線との直接接触、または地電流を介して生成される可能性があります。Cisco Aironet AIR-ACC245LA-N Lightning Arrestor は、憂慮すべき干渉電圧の振幅と持続期間を制限し、インラインの装置、システム、およびコンポーネントの過電圧抵抗を向上させます。これらの取り付け手順に従って避雷器を取り付けると、電位が調整されるため、保護されるシステム内で平行信号線への誘導障害が回避されます。

### インストールの考慮事項

保護されるエリアの壁をフィードスルーするように、避雷器を隔壁マウント方式で取り付けることを推奨します。

アース接続とボンディング接続を適切に行うことは、最も重要なことです。避雷器をアース接続する場合は、次の点を考慮してください。

- 接地点に避雷器コンポーネントを直接接続します。
- アース接続の接点は清潔で、埃や湿気がない状態である必要があります。
- マニュアルで指定されているトルクまで、ネジ付きの接合部を締めます。

### 避雷器設置に関する注意事項

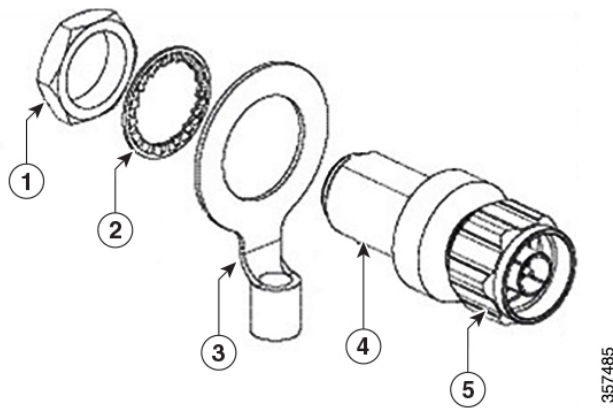
この避雷器は、屋外アンテナに接続されたアンテナ ケーブルと Cisco Aironet 無線デバイスの間に取り付けるように設計されています。避雷器は屋内にも屋外にも設置できます。また、外部 N コネクタを持つ無線デバイスに直接接続できます。また、インラインでも、フィードスルーモジュールとしても取り付けられます。フィードスルーとして取り付けの場合、避雷器を収納するため、5/8 インチ (16 mm) の穴が必要です。



- (注)
- この避雷器は避雷器キットの一部です。キットには避雷器とアースラグが含まれます。
  - 避雷器を取り付けるときは、地域の避雷器取り付けに適用される規制またはベストプラクティスに従ってください。

### 避雷器の屋外設置

避雷器を屋外に設置する場合は、付属のアースラグおよび頑丈なワイヤ（#6 硬銅線）を使用して、適切なアース接続が可能なアース棒などに接続します。接続をできるだけ短くする必要があります。



1	ナット	4	保護されていない側（アンテナを接続）
2	歯付座金	5	保護された側（無線デバイスを接続）
3	アースラグ		

### 避雷器のケーブル

同軸ケーブルは、周波数が高くなると効率が失われるため、信号損失につながります。信号損失の量はケーブル長によっても決まるため（ケーブルが長いほど、損失が増える）、ケーブルはできるだけ短く保つ必要があります。

シスコは、避雷器での使用を目的とした高品質で低損失なケーブルを推奨します。

## アクセスポイントの接地

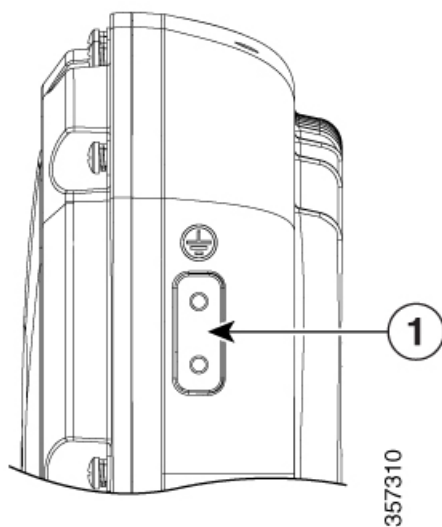
AP は、電源に接続する前にアース接続する必要があります。

屋外に設置する場合には、次の手順に従って本体を適切に接地する必要があります。

## 手順

- ステップ1** 6 AWG の絶縁アース線を使用する場合は、アースラグに接続できるように絶縁被覆をはがします。
- ステップ2** 適切な圧着工具を使用して、絶縁被覆を取り除いた 6 AWG のアース線をアースラグに圧着します。
- (注) アースラグおよび使用するハードウェアは、地域および国の電気規格に準拠する必要があります。
- ステップ3** 付属の耐食剤を開け、アース線のネジ穴がある金属表面（「アースパッド」）に適当な量を塗布します。
- ステップ4** 付属の 2 本のプラスネジ（M4 X 10 mm）とロックワッシャを使用して、アースラグを AP のアースネジ穴に接続します。アースネジを 2.5 ~ 2.7 Nm（22 ~ 24 lbf-in）のトルクで締め付けます。
- ステップ5** 必要に応じて、アース線のもう一方の端の絶縁被覆を取り除いて、接地ロッドなどの信頼できる接地点または接地された金属製の街路灯の柱の適切な接地点に接続します。

図 24: AP の右側にあるアースパッドの位置



1	アース線のネジ穴があるアースパッド。
---	--------------------

## アクセスポイントへの電源供給

AP は次の電源に対応しています。

- DC 電源 : 24 ~ 56 VDC

• Power-Over-Ethernet (PoE)

APには、インラインパワーインジェクタまたは適切に電力が供給されるスイッチポートからPoE入力を通して電源が供給されます。設定および規制ドメインによっては、フル稼働に必要な電力は802.3btまたはUPoEです。



(注) サポートされている屋外用パワーインジェクタは、それぞれの定格が60WのAIR-PWRINJ-60RGD1およびAIR-PWRINJ-60RGD2です。これらのパワーインジェクタは、10/100/1000BASE-Tによる運用のみをサポートします。2.5GBASE-T (mGig) イーサネット速度はサポートされません。

表 10: Cisco Catalyst 9124AX AP 省電力機能マトリックス

SKU	PoE 入力/DC 入力	無線 0	dBm	無線 1	dBm	AUX 無線	イーサネット mGig	SFP モジュール	GbE PHY	PoE 出力	注意
		SS	パスあたり	SS	パスあたり						
		2.4 GHz 無線		5 GHz プライマリ無線		Chillwave					

SKU	PoE 入力/DC 入力	無線 0	dBm	無線 1	dBm	AUX 無線	イーサネット mGg	SFP モジュール	GbE PHY	PoE 出力	注意
C9124AXI、 C9124AXDC9124AXE デュアル無線モード	.3af (15.4W)	無効	—	無効	—	enabled	1G	なし	なし	なし	無線サービスは無効
	.3at (30W)	2 X 2	23	2 X 2	23	enabled	1G	なし	あり	なし	-
	.3bt / UPOE (39.5W)	4 X 4	24	4 X 4	24	enabled	25G	あり	あり	15.4 W	PoE 出力は 802.3af 準拠
	DC 入力 (60W)	4 X 4	24	4 X 4	24	enabled	25G	あり	あり	15.4 W	60 W 以上の DC 電源を使用
C9124AXE トリプル 無線モード	.3af (15.4W)	無効	—	無効	—	enabled	1G	なし	なし	なし	無線サービスは無効
	.3at (30W)	無効	—	無効	—	enabled	1G	なし	なし	なし	-
	.3bt / UPOE (39.5W)	2 X 2	24	2 X 2	24	enabled	25G	あり	あり	15.4 W	PoE 出力は 802.3af 準拠
	DC 入力 (60W)	2 X 2	24	2 X 2	24	enabled	25G	あり	あり	15.4 W	60 W 以上の DC 電源を使用



(注) デュアル無線構成がデフォルトとして設定されており、トリプル無線構成は無効になっています。

表 11: C9124AXE デュアル無線サポートアンテナ構成

Antenna Mode	5 GHz 無線 (スロット 1)					2.4 GHz 無線 (スロット 0)			
	Ant-3	Ant-4	Ant-1	Ant-2	Ant-5	Ant-1	Ant-2	Ant-3	Ant-4
1 x 1 (20/40/80 MHz)	あり	-	-	-	-	Y	-	-	-
2 X 2 (20/40/80 MHz)	あり	あり	-	-	-	あり	あり	-	-
4 X 4 (20/40/80 MHz)	あり	あり	あり	あり	-	あり	あり	あり	あり
2 X 2 160 MHz	あり	-	-	-	Y	-	-	-	-

表 12: C9124AXE トリプル無線サポートアンテナ構成

Antenna Mode	5 GHz 無線 (スロット 1)				5 GHz 無線 (スロット 2)		2.4 GHz 無線 (スロット 0)			
	Ant-3	Ant-4	Ant-1	Ant-2	Ant-5	Ant-6	Ant-1	Ant-2	Ant-3	Ant-4
1 x 1 (20/40/80 MHz)	あり	-	-	-	Y	-	Y	-	-	-
2 X 2 (20/40/80 MHz)	あり	あり	-	-	あり	あり	あり	あり	-	-

## パワーインジェクタの接続

AP は、次のパワーインジェクタをサポートしています。

表 13: サポートされるパワーインジェクタ

Power Source	説明
AIR-PWRINJ-60RGD1=	屋外用 60 W パワーインジェクタ (北米用 AC プラグ付き)

Power Source	説明
AIR-PWRINJ-60RGD2=	60 W 定格屋外用パワーインジェクタ、AC プラグなしのグローバルバージョン
AIR-PWRINJ6=	30 W 定格シングルポート PoE インジェクタ
AIR-PWRINJ7=	65W 定格シングルポート PoE インジェクタ (802.3bt) 、mGig イーサネット

パワーインジェクタは、イーサネットケーブル経由で AP に DC 電圧を供給し、スイッチから AP までの全長 100 m (328 フィート) のエンドツーエンドイーサネットケーブルをサポートします。

オプションのパワーインジェクタで AP を動作させる場合は、次の手順に従って設置します。

### 手順

- ステップ 1 AP に PoE で給電する前に、AP が接地済みであることを確認します (アクセスポイントの接地 (35 ページ) を参照)。
- ステップ 2 設置に必要なコンポーネントについては、標準的なアクセスポイント設置コンポーネントを参照してください。
- ステップ 3 CAT5e 以上のイーサネットケーブルを有線 LAN ネットワークからパワーインジェクタに接続します。

**危険** 火災の危険性を抑えるため、必ず 24 AWG 以上の太さの電話線コードを使用してください。ステートメント 1023

(注) 設置者には、このタイプのパワーインジェクタによる AP への電源供給が、地方または国の安全検査と通信機器の基準を満たしていることを確認する責任があります。

- ステップ 4 AP の電源を入れる前に、AP にアンテナが接続され、アースが取り付けられていることを確認します。
- ステップ 5 シールド付き屋外用イーサネットケーブル (CAT5e 以上) で、パワーインジェクタと AP の PoE 入力コネクタ間を接続します。
- ステップ 6 イーサネットケーブルを AP の PoE 入力ポートに接続します。アクセスポイントへの CAT 5e イーサネットケーブルとグラウンドアセンブリの設置 (45 ページ) を参照してください。

## アクセスポイントへのDC電源ケーブルの接続

AP を DC 電源で動作させるときは、DC 電源が切り離されても装置に問題が発生しないことを確認する必要があります。装置の DC 電源コネクタが取り外されても、装置の電源が失われないようにする必要があります。



独自のDC電源装置を使用してDC電源を供給する場合は、AIR-ACC-KIT1=アクセサリキットに付属のDCプラグキットを使用する必要があります。



**危険** 装置は、必ず IEC 60950 に基づいた安全基準の安全超低電圧 (SELV) の要件に準拠する DC 電源に接続してください。ステートメント 1033

DC 電源ケーブルを接続する際、次の工具および資材はユーザが用意する必要があります。

- シールド付き屋外用 DC 電源ケーブル (18 AWG) (直径 0.51 ~ 0.89 cm (0.20 ~ 0.35 インチ))
- 調整レンチまたはオープンエンドレンチ
- 六角圧着工具 : 2.54 mm (0.10 インチ)

DC 電源ケーブルを AP に接続する手順は、次のとおりです。

#### 手順

**ステップ 1** DC 電源を AP に接続する前に、AP がアース接続されていることを確認します。[アクセスポイントの接地 \(35 ページ\)](#) を参照してください。

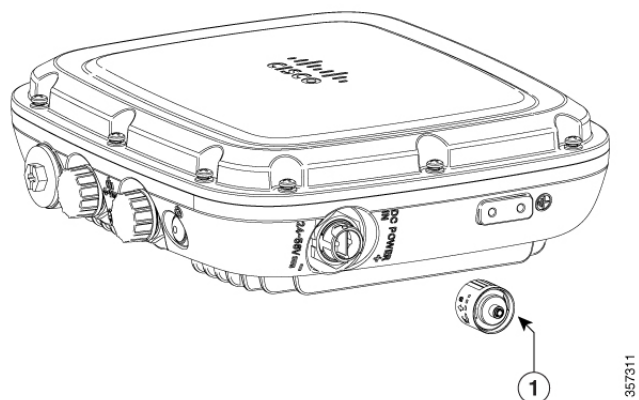
**ステップ 2** DC 電源を含めて、AP のすべての電源をオフにします。

**危険** この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。すべての接続を取り外し、装置の電源を遮断する必要があります。ステートメント 1028

**注意** DC 電源を AP に接続する際は、必ず AP 側のケーブルを最初に接続してください。DC 電源コネクタを外す際は、必ず AP 側のケーブルを最後に外してください。

**ステップ 3** AP の右側にある DC コネクタからキャップを取り外します。AP に向かって押し込み、反時計回りに 1/4 回転させます。キャップが 2 ピン DC コネクタの差し込みネジから外れます。将来的にポートを密閉する必要がないことが確実でない限り、キャップを廃棄しないでください。DC 電源コネクタの位置については、次の図を参照してください。

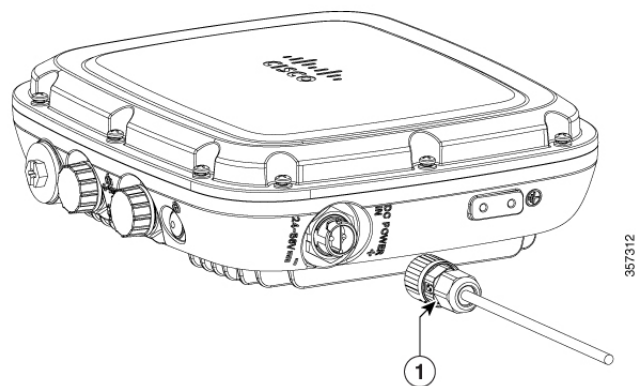
図 25: AP の右側にある DC 電源入力ポートの位置



1	DC コネクタキャップ
---	-------------

**ステップ 4** DC 電源の 2 ピンコネクタを AP の左側にあるプラグに差し込みます。プラグをコネクタのキー付きピンに合わせて配置します。コネクタ本体が回転しカチッと音がして固定されるまで、AP に向かって押し込みます。プラグは差し込み型です。押し込むと、自動的に所定の位置に固定されます。

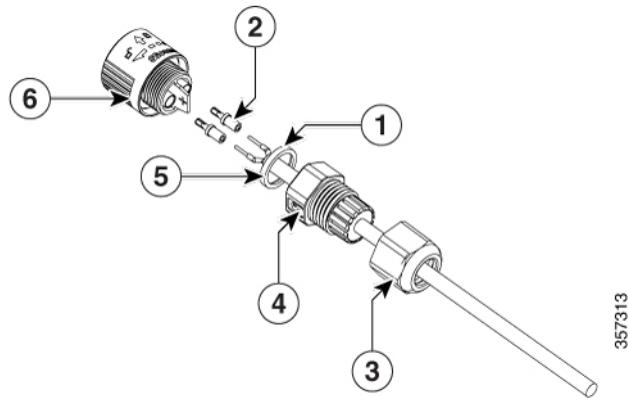
図 26: DC プラグの取り付け



1	2 ピン DC プラグ
---	-------------

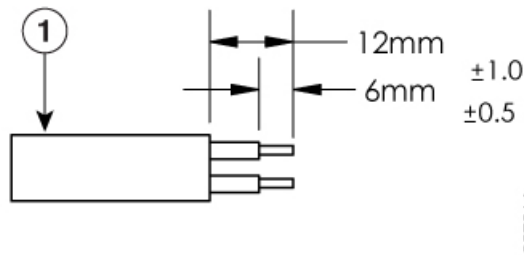
**ステップ 5** お客様が用意した DC 電源を使用して AP に電源を供給する方法について説明します。次の手順は、シスコ提供の DC プラグをケーブルに接続する方法を示しています。

図 27: ケーブルへの DC プラグの接続



1	DC 2 導線 18 AWG ケーブル	4	グロメットおよびシールリング
2	圧着ピン	5	ガスケット
3	シールナット	6	コネクタ本体

図 28: ワイヤ被覆除去の長さ



1	cable
---	-------

- a) DC プラグを分解します。
- b) ケーブルをプラグの各コンポーネントに通します。
- c) ケーブル端の被覆を除去します。
 

(注) 導線の被覆を除去し、より線にはんだを付けます。より線をはんだ処理すると、導線を圧着ピンに挿入しやすくなります。
- d) 導線を圧着ピンに挿入します。2.54 mm (0.10 インチ) の六角圧着工具を使用して、ピンを導線に圧着して固定します。2 番目のピンでも同じ作業を繰り返します。圧着プロセスをやり直す必要がある場合は、付属の追加ピン 2 本を使用できます。
- e) 圧着ピンと導線をコネクタ本体のメスバレルに挿入します。本体に表示されている対応するバレルに、適切な極性の導線を挿入してください。ピンを押して、ピンがバレルに完全に固定されていることを確認します。

(注) ピン 1 (+V) ピン 2 (-V) では、ピン割り当ての極性を示すためにコネクタ本体に (+) と (-) のマークが付いています。

- f) ケーブルにガスケットを通し、リングをケーブルにしっかりと押し付け、リングを本体に取り付けます。ガスケットがリングに正しく装着されていることを確認してください。手で締めて、ガスケットを完全に密閉します。
- g) シールナットをシールリングに取り付けます。リンググロメットがケーブル被覆に密着するまで手で締めます。

**ステップ 6** DC プラグを AP コネクタに取り付けます。

## データ ケーブルの接続

この AP の全モデルで、イーサネットポートと Small Form-Factor Pluggable (SFP) ポート経由のデータ接続がサポートされています。ただし、イーサネットポートと SFP ポートの両方をデータ用として同時に使用することはできません。

SFP が検出され、アクティブである場合、イーサネットポートは切断されます。SFP が検出されない場合、イーサネットポートの接続状態が維持されます。

SFP ポートを使用して光ファイバケーブル経由でデータを配信する場合、AP には DC 電源、電源アダプタ、またはパワーインジェクタから電源を供給する必要があります。

イーサネットケーブルの設置の詳細については、次を参照してください。

[アクセスポイントへの CAT 5e イーサネットケーブルとグラウンドアセンブリの設置 \(45 ページ\)](#)

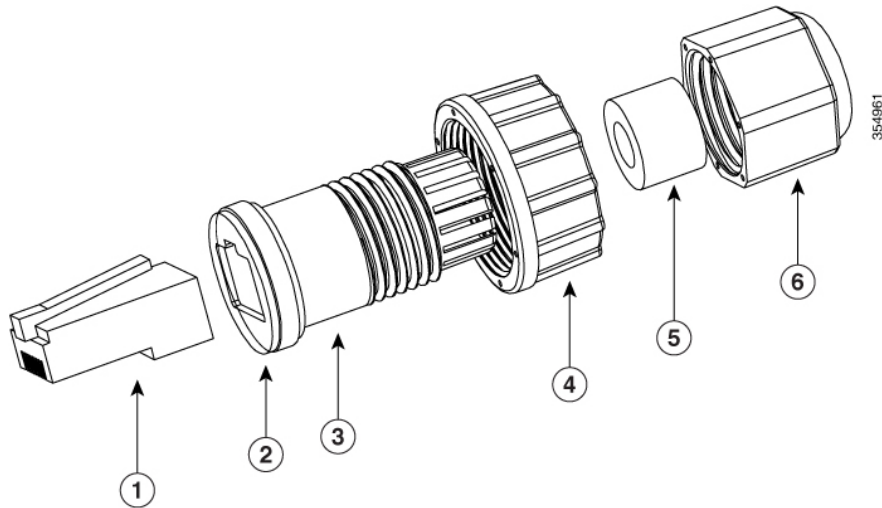
[アクセスポイントへの CAT 6/6A イーサネットケーブルとグラウンドアセンブリの設置 \(48 ページ\)](#)

光ファイバケーブルの設置の詳細については、[AP への光ファイバケーブルの接続 \(AIR-SFP-KIT1=\) \(51 ページ\)](#) を参照してください。

## アクセスポイントへのイーサネットケーブルの接続

### アクセスポイントへの CAT 5e イーサネットケーブルとグラウンドアセンブリの設置

図 29: CAT 5e ケーブルグラウンドアセンブリ



1 CAT 5e RJ45 プラグ	4 ナット
2 ガスケット クランプリングに取り付け済みです。	5 ケーブルシール
3 クランプリング	6 ケーブルシーリングナット

#### 始める前に

次の工具および資材を用意する必要があります。

- 直径 3.5 ~ 6.5 mm (0.14 ~ 0.26 インチ) のシールド付き屋外用 CAT 5e イーサネットケーブル
- CAT 5e RJ45 コネクタと取り付けツール
- 可動レンチまたは 18 mm ボックスレンチ
- CAT 5e グランドキットは AP に標準で付属しています。



(注) 付属の CAT 5e グランドは、CAT 5e ケーブルのみで使用する必要があります。CAT 6/6A ケーブルを使用する場合は、シスコに注文可能なアクセサリである AIR-ACC-CAT6= キットを使用する必要があります。

## 手順

**ステップ 1** パワーインジェクタの電源を切り離し、AP のすべての電源がオフになっていることを確認します。

**危険** この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。すべての接続を取り外し、装置の電源を遮断する必要があります。ステートメント 1028

**ステップ 2** 6 AWG のアース線が AP に接続されていることを確認します（[アクセスポイントの接地（35 ページ）](#)を参照）。

**ステップ 3** PoE ポートからカバー キャップを取り外します。

**ステップ 4** ケーブルグラウンドのケーブルシーリングナットを逆時計回りに回し、緩めて取り外します。

**(注)** ケーブルグラウンドがゴム製シールとガスケットを備えていることを確認してください。損傷がないことを確認します。

**注意** ケーブルグラウンドとゴム製ガスケットが正しく取り付けられていないと、ケーブルグリップから漏れが発生します。

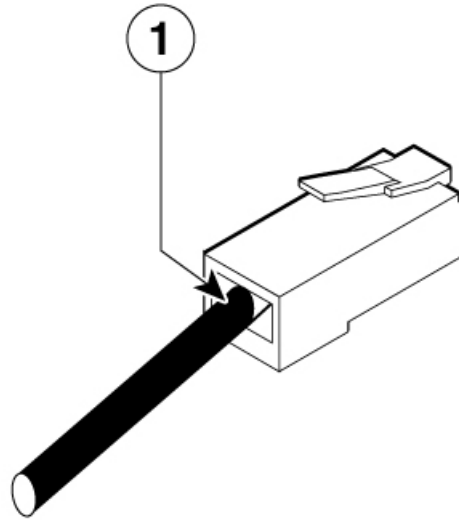
**ステップ 5** ケーブルシールとシーリングナットを再度取り付けます。

**ステップ 6** イーサネットケーブルの非終端側をケーブルグラウンドのシーリングナット側の端に差し込みます。

イーサネットケーブルをケーブルシールに通し、適合対象のコンポーネントからケーブルを数インチ引き出します。

**ステップ 7** イーサネットケーブル取り付け工具を使用して、イーサネットケーブルの非終端側に RJ45 コネクタを取り付けます。

- (注) ケーブルが入る RJ45 コネクタの端に、ケーブルフォイル、シールド、または終端処理時に剥がされた被覆がないことを確認します。素材が残っていると、内部コンポーネントの干渉が発生し、RJ45 ポートを適切に密閉できなくなる可能性があります。

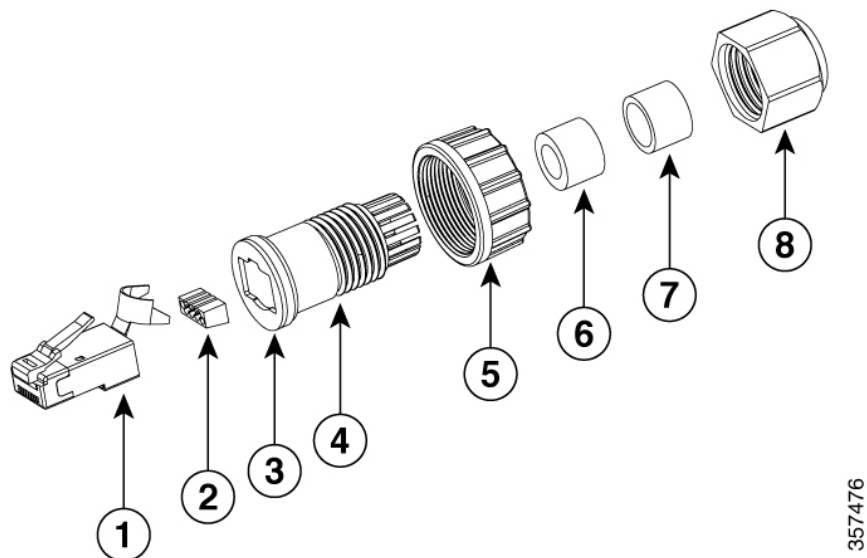


ケーブルが入る RJ45 コネクタの端は、ケーブルフォイル、シールド、またはこの回線での終端処理時に剥がされた被覆を終端処理します。

- ステップ 8** 終端処理された RJ45 コネクタを、止まるまでクランプリングにスライドさせます。ケーブルを引いて、コネクタがクランプリングに装着されていることを確認します。
- ステップ 9** ケーブルシールナットを回して、ケーブル被覆の周りのシールを締めます。モンキーレンチまたは 18 mm レンチを使用して、8 ~ 10 kgf-cm (7 ~ 9 重量ポンド-インチ) のトルクで締め付けます。
- ステップ 10** RJ45 ケーブルグラウンドアセンブリを AP のポートに挿入します。ねじナットを AP ねじ付きポートにねじ込み、グラウンドがポートに確実に密着するように手で締めます。可能であれば、17 kgf-cm (15 重量ポンド-インチ) までトルクをかけます。
- ステップ 11** イーサネットケーブルを適切に引き回し、余分なケーブルを切り落とします。
- ステップ 12** ケーブルの非終端側に RJ45 コネクタを取り付け、パワーインジェクタまたはデバイス PoE ポートに差し込みます。
- ステップ 13** パワーインジェクタの電源を入れます。

## アクセスポイントへの CAT 6/6A イーサネットケーブルとグラウンドアセンブリの設置

図 30 : CAT 6/6a ケーブルグラウンドアセンブリ



357476

1 CAT 6/6A RJ45 プラグ	5 ナット
2 RJ45 ワイヤロードバー プラグに接続される方向に注意してください。	6 ケーブルシール (ケーブル OD 範囲は 5 ~ 7 mm)
3 ガasket クランプリングに取り付け済みです。	7 ケーブルシール (ケーブル OD 範囲は 7 ~ 9 mm)
4 クランプリング	8 ケーブルシーリングナット

### 始める前に

次の工具および資材を用意する必要があります。

- 直径 5 ~ 9 mm (0.2 ~ 0.35 インチ) のシールド付き屋外用イーサネットケーブル (CAT 6 または CAT 6A)
- CAT 6 RJ45 コネクタ取り付けツール
- 可動レンチまたは 18 mm ボックスレンチ
- AIR-ACC-CAT6= キットとは別売りの CAT 6/CAT 6A グラウンド



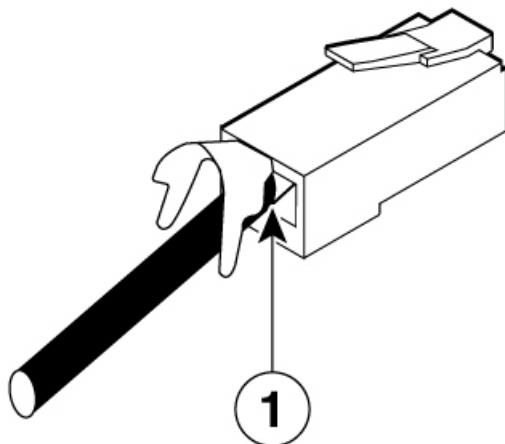


- (注) 付属の CAT 5e グランドは、CAT 5e ケーブルのみで使用する必要があります。CAT 6/6A ケーブルを使用する場合は、シスコに注文可能なアクセサリである AIR-ACC-CAT6= キットを使用する必要があります。

## 手順

- ステップ 1** パワーインジェクタの電源を切り離し、AP のすべての電源がオフになっていることを確認します。
- 危険** この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。すべての接続を取り外し、装置の電源を遮断する必要があります。ステートメント 1028
- ステップ 2** 6 AWG のアース線が AP に接続されていることを確認します ([アクセスポイントの接地 \(35 ページ\)](#) を参照)。
- ステップ 3** PoE ポートからカバー キャップを取り外します。
- (注) ケーブルグラウンドがゴム製シールとガスケットを備えていることを確認してください。損傷がないことを確認します。
- 注意** ケーブルグラウンドとゴム製ガスケットが正しく取り付けられていないと、ケーブルグリップから漏れが発生します。
- ステップ 4** ケーブルグラウンドのケーブルシーリングナットを逆時計回りに回し、緩めて取り外します。
- ステップ 5** イーサネットケーブルの非終端側をケーブルシーリングナット側に差し込みます。
- イーサネットケーブルを適切なサイズのケーブルシールに通し、グラウンドコンポーネントからケーブルを数インチ引き出します。
- (注) •使用されるイーサネットケーブルの OD に適合する適切なケーブルシールを取り付けます。
- ステップ 6** ケーブルシールをクランプリングに挿入し、ケーブルシールナットをクランプリングに戻します。
- クランプリングは締め付けしないでください。
- ステップ 7** イーサネットケーブル取り付け工具を使用して、イーサネットケーブルの非終端側に CAT 6/6A RJ45 コネクタを取り付けます。
- 一般的な CAT6/6A イーサネットコネクタの取り付け手順に従います。コネクタの金属製ストレーンラグの端を外側のケーブル被覆、フォイル、およびアース線 (装備されている場合) に折り重ねて圧着します。

**注意** ケーブルが入る RJ45 コネクタの端に、ケーブルフォイル、シールド、および終端処理時に剥がされた被覆がないことを確認します。材料が残っていると、内部コンポーネントの干渉が発生し、RJ45 ポートを適切に密閉できなくなる可能性があります。



ケーブルが入る RJ45 コネクタの端は、ケーブルフォイル、シールド、またはこの回線での終端処理時に剥がされた被覆を終端処理します。

- (注)
- 図に示すとおり、ノッチがコネクタに合うようにロードバーを配置して挿入します。
  - 個々の導線のシーケンスが反対側の接続端と一致することを確認します。通常のシーケンスは、T568B のピン割り当て規格に準拠しています。

**ステップ 8** 終端処理された RJ45 コネクタを、止まるまでクランプリングにスライドさせます。ケーブルを引いて、コネクタがクランプリングに装着されていることを確認します。

**ステップ 9** ケーブルの周りのケーブルシールナットを締めます。  
18mm レンチまたはモンキーレンチを使用して、ナットを 8 ~ 10 kgf-cm (7 ~ 9 重量ポンド-インチ) で締めます。

**ステップ 10** RJ45 ケーブルグラウンドアセンブリを AP ポートに取り付けます。  
ねじナットを AP ねじ付きポートにねじ込み、グラウンドがポートに確実に密着するように手で締めます。可能であれば、17 kgf-cm (15 重量ポンド-インチ) までトルクをかけます。

**ステップ 11** イーサネットケーブルを適切に引き回し、余分なケーブルを切り落とします。

**ステップ 12** ケーブルの非終端側に RJ45 コネクタを取り付け、パワーインジェクタまたはデバイス PoE ポートに差し込みます。

- (注) 個々の導線のシーケンスが反対側の接続端と一致することを確認します。通常のシーケンスは、T568B のピン割り当て規格に準拠しています。

ステップ 13 パワー インジェクタの電源を入れます。

## AP への光ファイバケーブルの接続 (AIR-SFP-KIT1=)

シスコの光ファイバアクセサリキットを使用すれば、AP で光ファイバネットワーク接続をサポートできます。

SFP ポートに光ファイバネットワーク ケーブルを接続できます。Small Form-Factor Pluggable (SFP) トランシーバモジュールにより、SFP ポートにケーブルが接続されます。

図 31: AP に取り付けられた光ファイバケーブルとグラウンド



### 始める前に

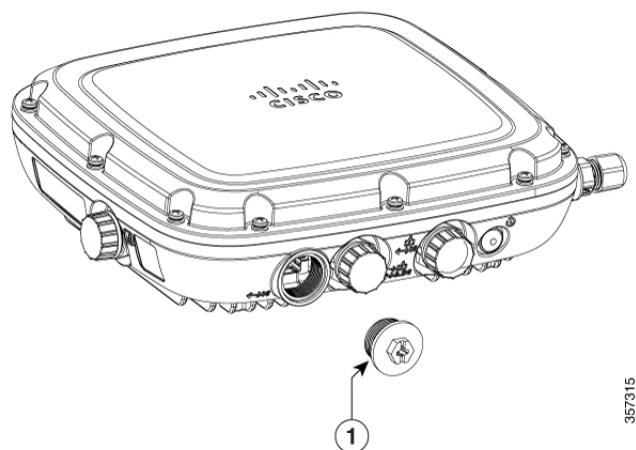
AP に光ファイバケーブルを接続するには、次の資材が必要です。

- Cisco Small Form-Factor Pluggable (SFP) アダプタキット
- SFP トランシーバモジュール
- SC またはデュプレックス LC 光ファイバケーブル。光ファイバケーブルの外径は、6 – 12.7 mm (0.24 – 0.50 インチ) にする必要があります。ケーブルグラウンドは直径が 12.7 mm (0.50 インチ) を超えるケーブルを保持できません。
- 12 mm レンチまたは大型のマイナスドライバまたはプラスドライバ
- 調整レンチ

手順

- ステップ 1** AP からすべての電源を切断します。
- ステップ 2** この手順で示すガイドラインに従って、SFP ポートからプラグを取り外します。

図 32: SFP ポートプラグの取り外し



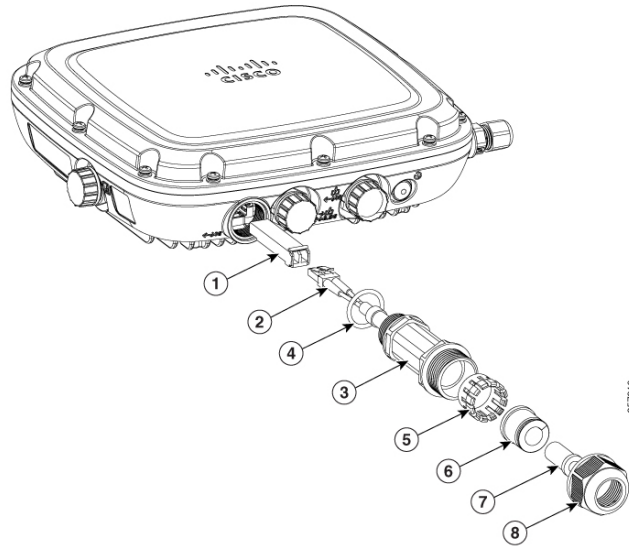
1	SFP ポートプラグ
---	------------

SFP ポートを今後密閉する必要がないことが確実でない限り、プラグを廃棄しないでください。

- a) 塗料にひっかき傷が付かないよう、AP は背面を下にして（ヒートフィンが下になるように）、固定され当て物をした面に置きます。
- b) 12 mm レンチまたは大型のマイナスドライバ、またはプラスドライバを使用して、SFP ポートプラグを反時計方向に回して取り外します。

- ステップ 3** SFP モジュールを SFP ポートに挿入し、正しく固定されていることを確認します。
- ステップ 4** SFP グランドアダプタコンポーネントを緩めて分解します。

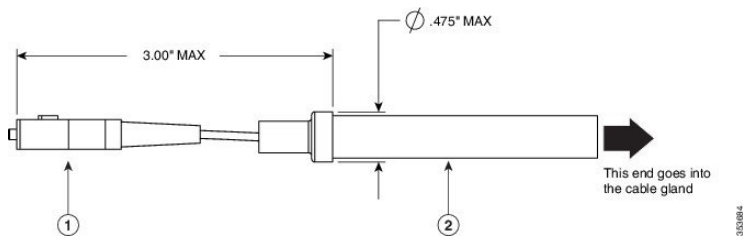
図 33: 光ファイバケーブルとグラウンドアセンブリの分解組立図



1	SFP トランシーバモジュール	5	グラウンド圧縮フェルール
2	デュプレックス LC 光ファイバケーブル	6	直径 7.6 ~ 12.7 mm (0.30 ~ 0.50 インチ) の大型ケーブルゴムグラウンド
3	SFP グラウンドアダプタ本体	7	直径 6.0 ~ 7.6 mm (0.24 ~ 0.30 インチ) の小型ケーブルゴムグラウンド
4	本体 O リング	8	グラウンドナット

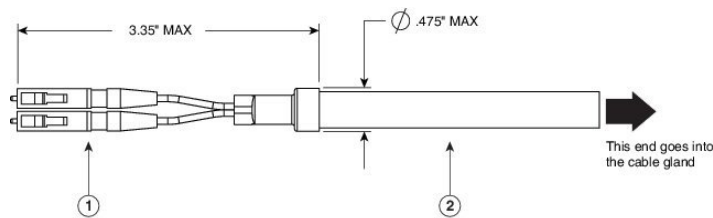
ステップ 5 SC または LC 光ファイバケーブルを終端処理します。

図 34: SC 光ファイバケーブル



1	SC 光ファイバコネクタ	2	光ファイバケーブル
---	--------------	---	-----------

図 35: デュプレックス LC 光ファイバケーブル



1	デュプレックス LC 光ファイバコネクタ	2	光ファイバケーブル
---	----------------------	---	-----------

**ステップ 6** ファイバコネクタの終端を損傷しないように注意しながら、ファイバコネクタをグランドアダプタコンポーネントに通します。図 35: デュプレックス LC 光ファイバケーブル (54 ページ) に示すように、コンポーネントの順序と向きを確認します。

(注) 適切なゴムグランドの組み合わせを使用していることを確認します。ファイバケーブルの外径 (OD) が 7.6 – 12.7 mm (0.30 – 0.50 インチ) の場合、小型のゴムグランドは廃棄できます。ケーブルの OD が 6.0 – 7.6 mm (0.24 – 0.30 インチ) の場合は、小型のゴムグランドが大型のゴムグランドに挿入されます。

**ステップ 7** Oリングがグランドアダプタ本体に正しく装着されていることを確認します。グランドアダプタのコンポーネントを再度組み合わせます。ゴム製挿入物上のグランドナットを締め付けしないでください。グランドをファイバケーブル上で容易にスライドできるように、緩めたままにしておきます。この段階でケーブルを締め付けると、ケーブルが損傷する可能性があります。

**ステップ 8** ケーブルの SC または LC 光ファイバコネクタ側を SFP トランシーバモジュールに挿入し、ケーブルがしっかりと固定されていることを確認します。

**ステップ 9** アダプタ本体を AP の SFP ポートに差し込みます。アダプタ本体を手で締めて、完全に固定します。本体が正しく装着されていることを確認します。可動レンチを使用して、約 15 – 20 kgf-cm (13 – 17 lbf-in) のトルクでアダプタ本体を締め付け、AP 本体にしっかりと固定します。

**ステップ 10** ファイバケーブルにゴムグランドを密着させるため、グランドナットを手で締めます。可動レンチを使用して、ナットを約 17 – 25 kgf-cm (15 – 22 lbf-in) のトルクで締めて 1/4 回転させ、ケーブルを水密にします。

**注意** この SFP アセンブリを取り外す場合は、この取り付け手順を逆の順序で実行することが必要です。ケーブルグランドのナットを緩めることから始めます。

## Power-over-Ethernet によるアクセスポイントへの電源供給

次のデバイスを使用して、AP に Power-over-Ethernet (PoE) で電源供給できます。

- 802.3at (PoE+) : 802.3at (30 W) 準拠のスイッチポートまたは Cisco パワーインジェクタ AIR-PWRINJ6=
- 802.3bt : 802.3bt 準拠のスイッチポートまたは IEEE 802.3bt 準拠のパワーインジェクタ

- Cisco Universal PoE (Cisco UPOE)



---

(注) 802.3af を使用すると、2.4 GHz と 5 GHz の両方の無線が無効になり、イーサネットは 1 GbE の速度にダウングレードされます。SFP ポートと PoE 出力も無効になります。

---





## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。